

山陰道（木^き与^よ付近）
第1回意見聴取結果

平成28年12月14日

国土交通省 中国地方整備局

1. 意見聴取の概要	．．．	2
2. アンケート調査結果	．．．	6
3. アンケートクロス集計結果	．．．	13

1. 意見聴取の概要

1. 意見聴取の概要

- 回収率向上に向けて、自治体や観光地等における道路利用者アンケートの常設や道の駅や中学校でのヒアリング調査を実施。
- 山陰道アンケート調査ポータルサイトを作成し、インターネットによるアンケートの調査も実施。

■道の駅等での道路利用者アンケート票の常設



アンケート及び
投函箱を設置

ポスターも設置

▲道の駅阿武町

■道の駅や中学校でのヒアリング調査



▲道の駅阿武町

■アンケート調査ポータルサイトの作成



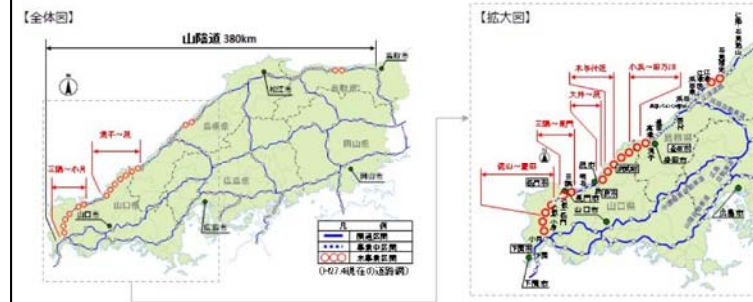
バナーを掲載

山陰道の計画に関するアンケート

ポータルサイト

山陰道の計画に関するアンケート調査

山陰道は、鳥取県鳥取市から鳥根県を經由し山口県下関市に至る380kmの高規格幹線道路です。これまで順次整備が進められており、平成27年4月には須子～萩間及び三隅～小月間のうち、優先整備区間として、「大井～萩」、「木与付近」、「小浜～田万川」、「三隅～長門」、「橋山～豊田」を選定したところです。アンケート調査は山陰道を計画するにあたり、皆さまに役立つ道路とするため、皆さまにご意見を伺うものですので、ご協力いただきますようお願いいたします。



- アンケート調査
- 萩山～豊田 第1回アンケート（アンケート期間：H27年9月14日～10月16日まで）【調査は終了しました。】
 - 大井～萩 第1回アンケート（アンケート期間：H27年10月16日～11月16日まで）** **★**
 - 木与付近 第1回アンケート（アンケート期間：H27年10月16日～11月16日まで）** **★**

社会資本整備審議会道路分科会中国地方小委員会開催状況

山陰道(三隅～小月)		山陰道(須子～萩)		
萩山～豊田	三隅～長門	大井～萩	木与付近	小浜～田万川
第1回	-	第1回	第1回	-



▲道の駅ゆとりパークたまたがわ



▲萩東中学校

1. 意見聴取の概要

木与付近（第1回）

○回収率向上に向けて、新聞や広報紙への掲載、ポスターの掲示を行うとともに、ケーブルテレビでの広報を実施。

■新聞広告(平成27年11月3日(祝・火)の読売新聞・朝日新聞・毎日新聞に掲載)

山陰道(大井~萩) 山陰道(木与付近)の計画に関する

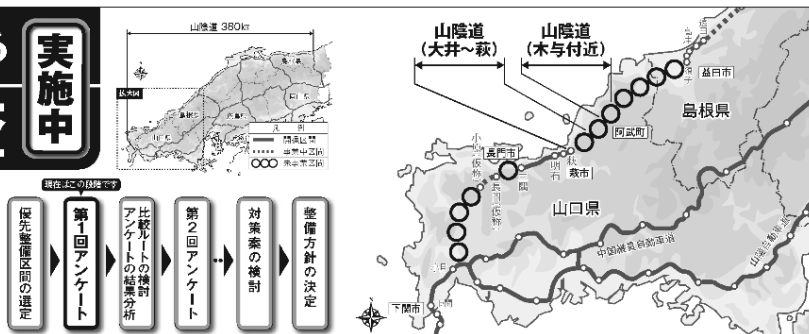
第1回アンケート調査

実施中

山陰道は、鳥取県鳥取市～山口県下関市までの延長約380kmの高規格幹線道路です。山陰道(大井～萩および木与付近)の計画について、地域の皆さまや道路利用者の方からご意見を伺うがため、道路計画に反映するためのアンケート調査です。今回のアンケート調査は、計画地域の「道路交通に関する現在の課題」、「地域の将来を構想した将来の道路機能」についてのご意見を伺う内容です。ご協力をお願いします。

アンケートについて
内容 山陰道(大井～萩): 山口県鳥取市大井～萩市橋の道路交通に関する現在の課題や当地域に求められる道路の役割等
 山陰道(木与付近): 山口県阿武郡阿武町木与の道路交通に関する現在の課題や当地域に求められる道路の役割等

方法	アンケート調査	実施方法
郵送	〒3地区に在住の方 その他の地域にお住の方	●アンケート調査票を郵送させていただきます。 ご返信は、郵送料がかかります。 ①〒3地区: 阿武町阿武郡阿武町木与 ②〒3地区: 阿武町阿武郡阿武町木与 ③〒3地区: 阿武町阿武郡阿武町木与
インターネット	インターネットで調査	●調査票をインターネット上で提出していただきます。 ①インターネットで調査票を提出していただきます。 ②インターネットで調査票を提出していただきます。



調査期間 平成27年10月16日(金)～11月16日(月)

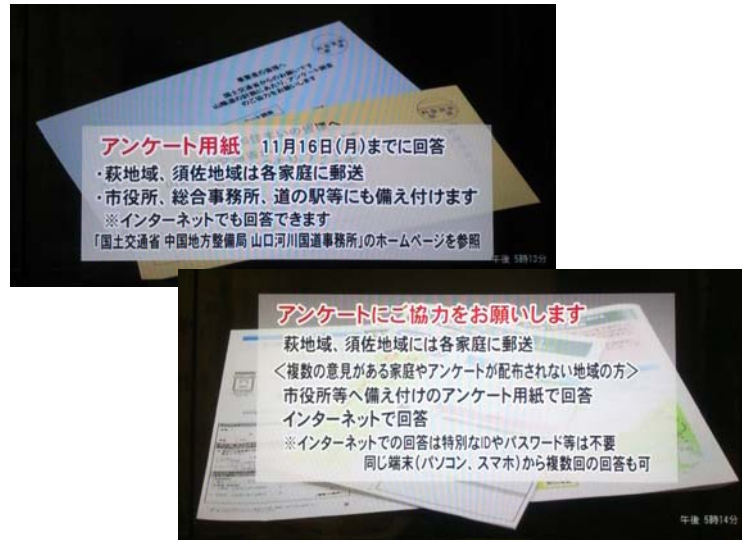
ご協力下さい **みなさまのご意見お待ちしております。**

国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所のホームページにも、アンケートページを掲載しました。

アンケートのお問い合わせ先
 国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所
 計画課 電話 0835-22-1819

WEBアンケートも併せて実施中です
 山口河川国道事務所 検査
<http://www.e.gr.mlit.go.jp/yamaguchi/sanindo/>

■ケーブルテレビ(萩ケーブルテレビ)



■広報紙

(市報HAGI 10月1日号、10月15日号、11月1日号に掲載)

山陰道のアンケート調査ぜひ回答を!

山陰道(大井～萩)は、今年2月から3月にかけて実施されたアンケート調査の結果も踏まえ、大井～萩(約15km)、小浜～大井(約5km)が、4月に優先整備区間として決定され、整備に向けた検討が始まりました。

このうち「大井～萩、木与付近」については、「社会資本整備総合会議 全国地方分科会中国地方小委員会」で、概略ルート案を精査し、検討するためのアンケート調査を実施が決定しました。なお、本区間を対象としたアンケートは、今回を含め2回実施される予定です。

アンケート調査の実施方法

- 萩・須佐地域の各世帯に郵送される調査票
- 道の駅や市役所、総合事務所等に備え付けの調査票
- 国土交通省山口河川国道事務所のホームページ (<http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/index.php>)

地域にお住まいの皆様へ
 国土交通省からのお知らせ
 山陰道の計画にあたり、アンケート調査のご協力をお願いします

郵送料がかかります
 郵送料がかかります

10月下旬～11月上旬の開始予定で、アンケート期間は、概ね1か月程度です。

問い合わせ 阿武町役場施設課 ☎08388-2-3112

市報HAGI 2015(平成27年)10月15日号

■広報紙

(広報あぶ 10月20日号に掲載)

協力をお願いします

山陰道(木与付近)アンケート調査を実施します

山陰道(木与付近)の計画策定にあたり、国土交通省山口河川国道事務所が、地域の皆さんや地元企業、道路利用者などを対象に道路の課題や新しい道路に関するアンケート調査を実施しています。

各世帯にアンケート調査票が郵送されますので、地域の思いを伝え、より良い山陰道を整備するため、また早期事業化に向け、調査への協力をお願いします。

■問い合わせ 阿武町役場施設課 ☎08388-2-3112

家庭用
 地域にお住まいの皆様へ
 国土交通省からのお知らせ
 山陰道の計画にあたり、アンケート調査のご協力をお願いします

事業所用
 国土交通省からのお知らせ
 山陰道の計画にあたり、アンケート調査のご協力をお願いします

▲広報あぶ(2015年10月20日号)

■ポスター

(道路利用者アンケート調査票常設箇所に掲示)

山陰道(大井～萩) 山陰道(木与付近)の計画に関する

第1回アンケート調査

実施中

調査期間 平成27年10月16日(金)～11月16日(月)

アンケート調査の目的
 地域の皆さまや道路利用者の方の意見を道路計画に反映するためのアンケートです。日頃感じておられる課題や地域の将来のために必要な道路の機能についてご意見をお寄せください。

アンケート調査の対象範囲

大井～萩: 山口県鳥取市大井～萩市橋の区間
 木与付近: 山口県阿武郡阿武町木与の区間

アンケート調査にご協力をお願いします!

WEBアンケートはこちら <http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/sanindo/>

電話 0835-22-1819

▲市報HAGI(2015年10月15日号)

■意見聴取(アンケート)内容

質問事項

- 現況の問題点・解消すべき課題
- 政策目標
- その他自由意見

質問1 「大井～萩」および「木与付近」の国道191号には、どのような交通課題があると思いますか？

以下の①～⑤の課題について、**各区間を5段階評価**してください。

※現状について分からない方は、「分からない」の欄に「○」を付けてください。

<5段階評価> 5. 強くそう思う 4. ややそう思う 3. どちらとも言えない 2. あまりそう思わない 1. 全くそう思わない

- ① 観光シーズンなど交通渋滞や低速車による走行阻害により、円滑に走行できない
- ② 災害時の通行止めの発生により、大きな迂回を強いられる
- ③ カーブや急な坂、幅員狭小区間があり、快適に走行できない
- ④ 交通事故が多く、安全に通行できない
- ⑤ 地域の支所や公民館等の公共施設、商業施設への移動や観光地等へのアクセスが悪い
- ⑥ その他（自由回答）

質問2 この地域の道路を利用する際に、「大井～萩」および「木与付近」にはどのような道路機能を持たせるべきだと思いますか？地域の将来(10～20年後)も踏まえ、以下の①～⑦の道路機能について、**各区間を5段階評価**してください。

<5段階評価> 5. 強くそう思う 4. ややそう思う 3. どちらとも言えない 2. あまりそう思わない 1. 全くそう思わない

- ① カーブや急な坂が少なく、広い道路を快適に走行できること
- ② 災害時や異常気象時に安心・安全に通行できる代替路が確保されること
- ③ 通過交通と地域内交通が分離され、安全かつ円滑に通行できること
- ④ 交通事故を少なくできること
- ⑤ 港湾や生産拠点、消費地との連絡性が良く、広域物流の効率化や円滑な物資等の輸送ができること
- ⑥ 観光や地域間交流を促進できること
- ⑦ 救急病院への移動や広域的な救急搬送が円滑にできること
- ⑧ その他（自由回答）

質問3 その他、この区間の道路整備の必要性や今後の方向性などについて、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

2. アンケート調査結果

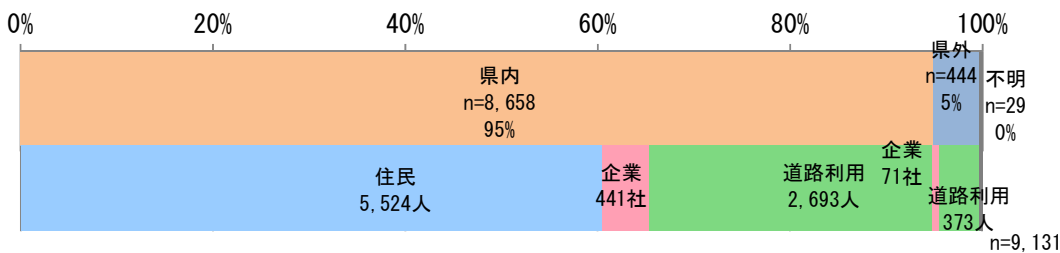
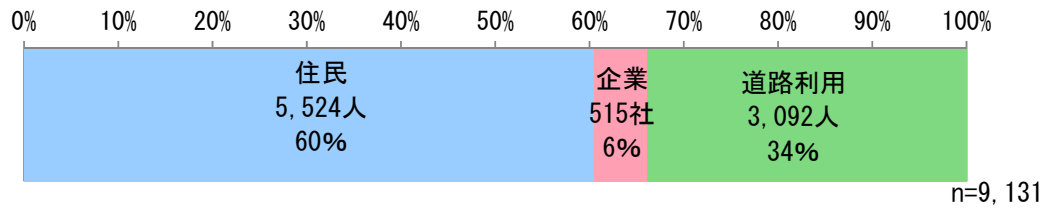
2. アンケート調査結果

木与付近（第1回）

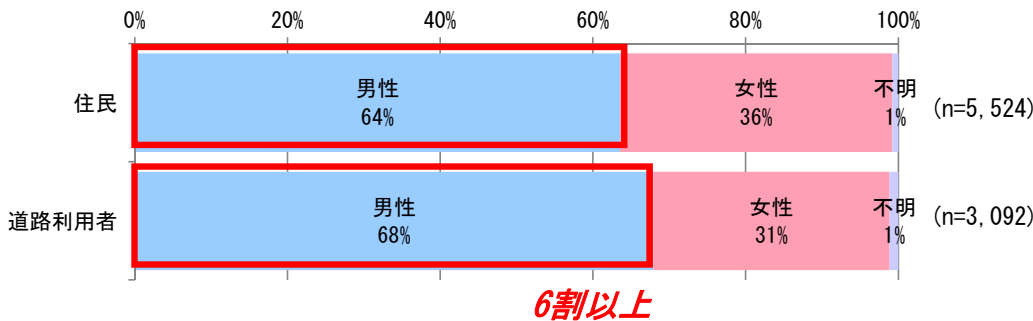
1) 属性①

- 住民約5,500人、企業約520社、道路利用者約3,100人から意見聴取を実施。
- 回答者のうち、旧萩市、旧須佐町、阿武町からの回答は約8割。
- 回答者の性別は男性が6割以上、年代別に見ると住民アンケートは世帯主と想定される60代以上の回答が約6割、道路利用者アンケートは60代以上の回答が約3割。

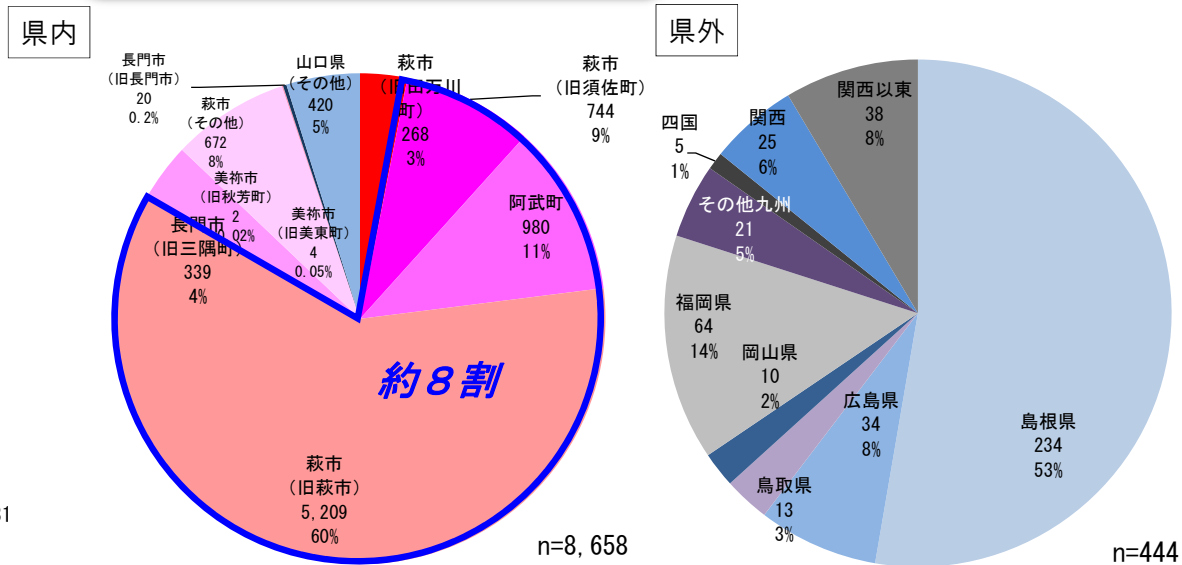
アンケート回収状況



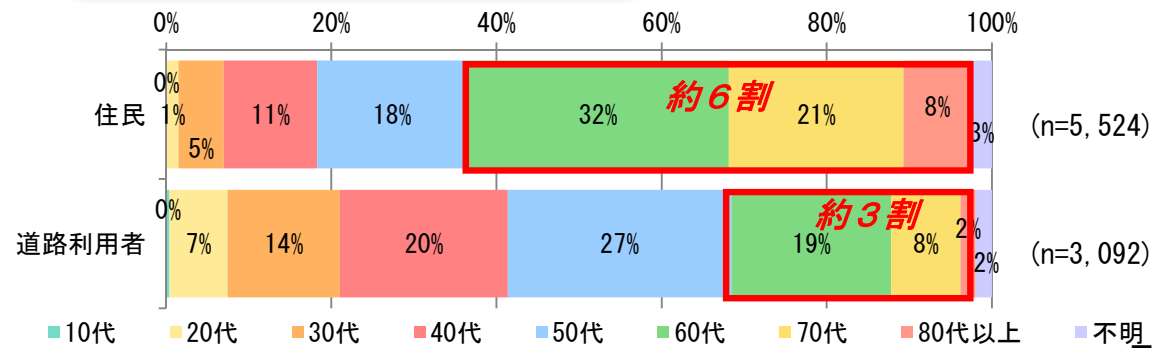
性別



住所



年代

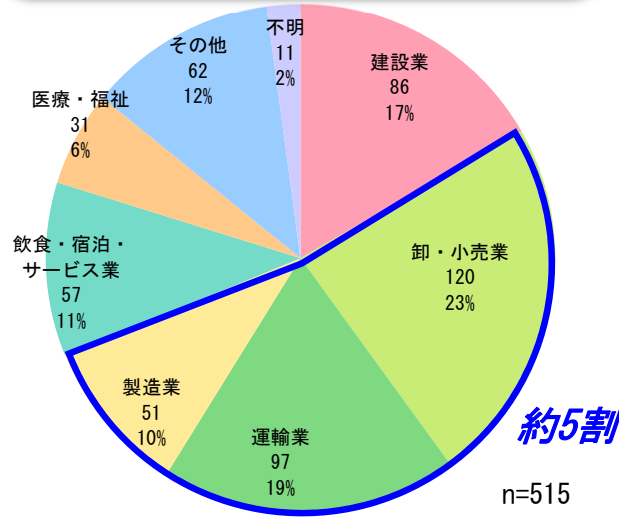


2. アンケート調査結果

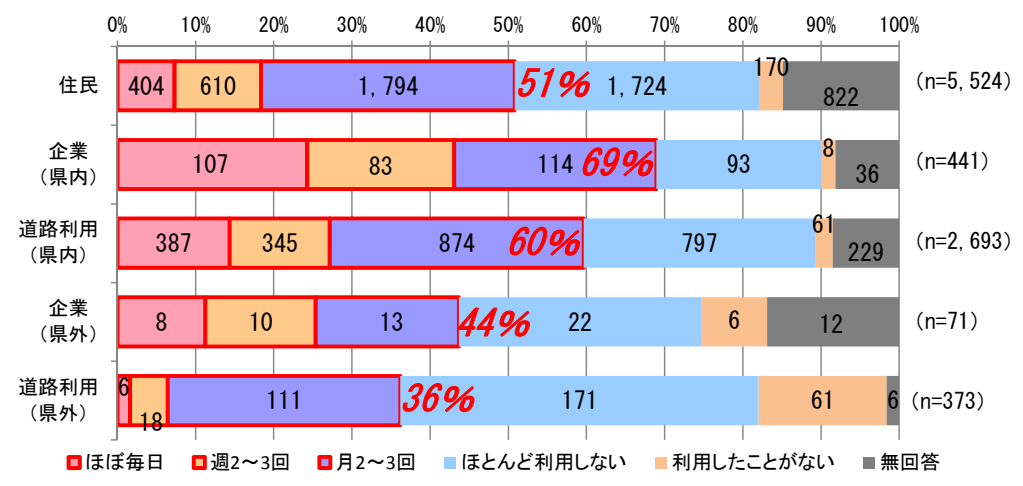
1) 属性②

- 企業アンケートは商品や製品の取扱い及び輸送を行う「卸・小売業」、「運輸業」、「製造業」からの回答が約5割。
- 住民の約5割が当該区間(木与付近)を「月2～3回以上利用している」と回答。
- 利用目的は「仕事」「家事・買い物」と回答した方が多く、萩市内と萩市・阿武町間の移動が約7割。

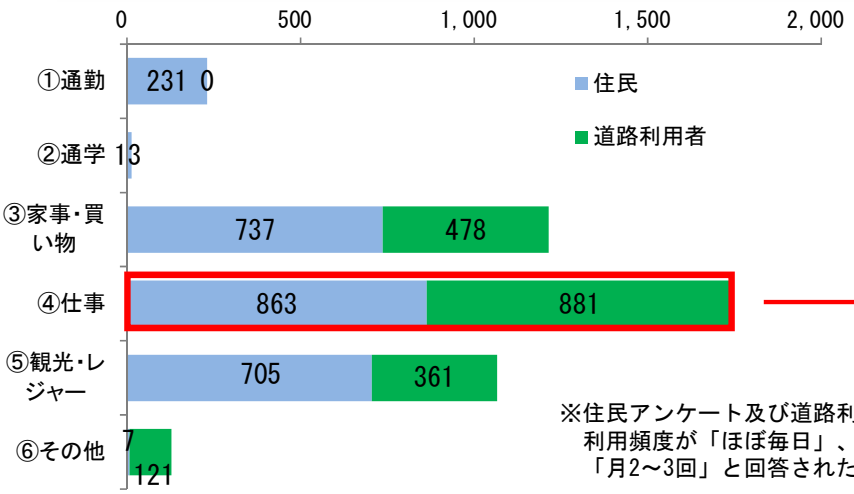
業種



現在の木与付近の国道191号の利用頻度

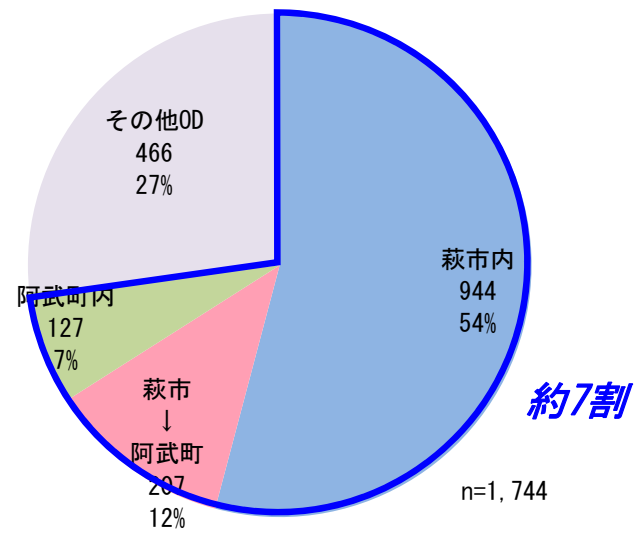


現在の木与付近の国道191号の利用目的



※住民アンケート及び道路利用者アンケートで利用頻度が「ほぼ毎日」、「週2～3回」、「月2～3回」と回答された方のみ対象

<仕事目的のOD内訳>



※住所不明29票を除く

2. アンケート調査結果

2) 交通課題①

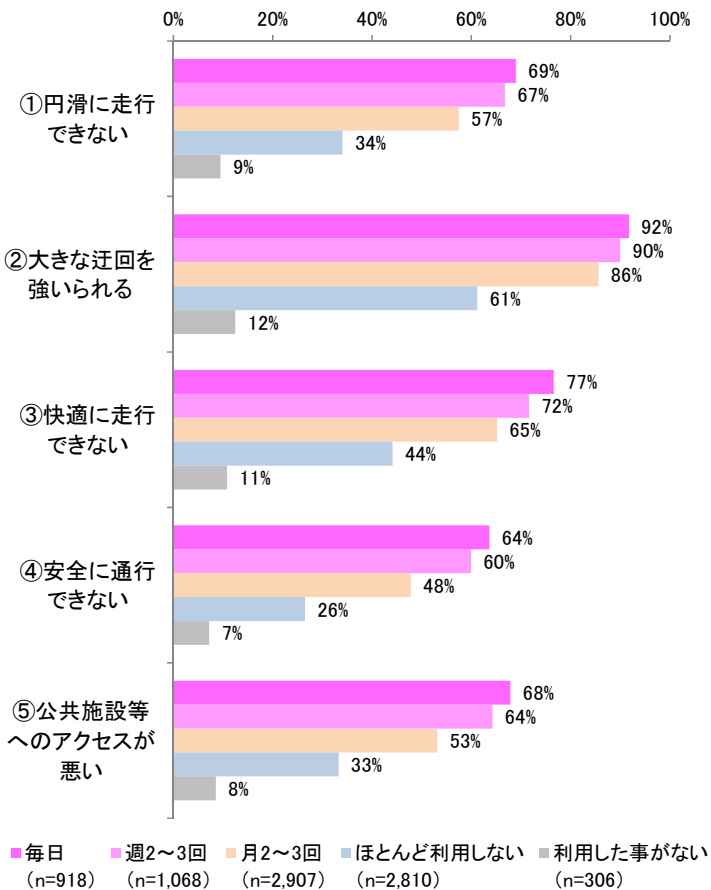
- 利用頻度が高くなるほど、課題に対する賛同割合は高い傾向。
- 高頻度利用者（毎日利用）のうち、萩市、阿武町の居住者・所在企業等とそれ以外でみると、地域に関わらず、課題意識が高く、住民・企業ともに課題認識が高い。

利用頻度別の交通課題

- ① 観光シーズンなど交通渋滞や低速車による走行阻害により、円滑に走行できない
- ② 災害時の通行止めの発生により、大きな迂回を強いられる
- ③ カーブや急な坂、幅員狭小区間があり、快適に走行できない
- ④ 交通事故が多く、安全に走行できない
- ⑤ 地域の支所や公民館等の公共施設、商業施設への移動や観光地等へのアクセスが悪い

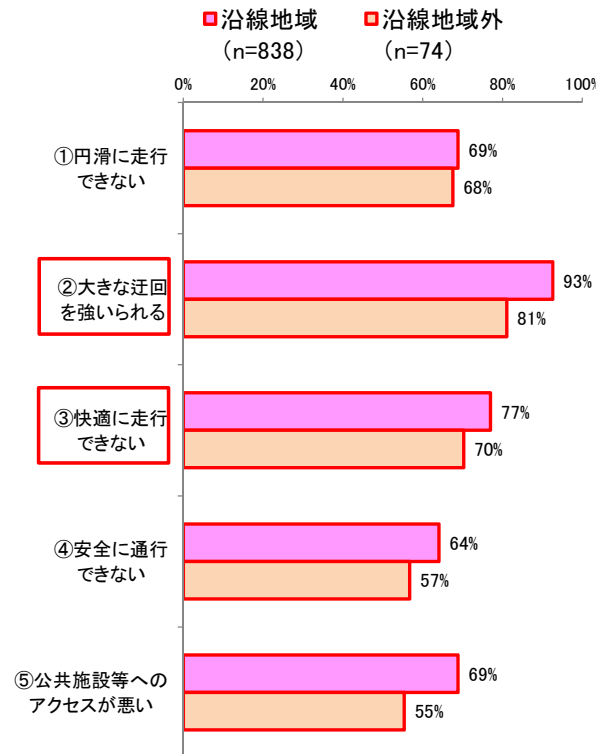
■利用頻度別の賛同意見割合

・利用頻度が高いほど賛同する割合は高い傾向。



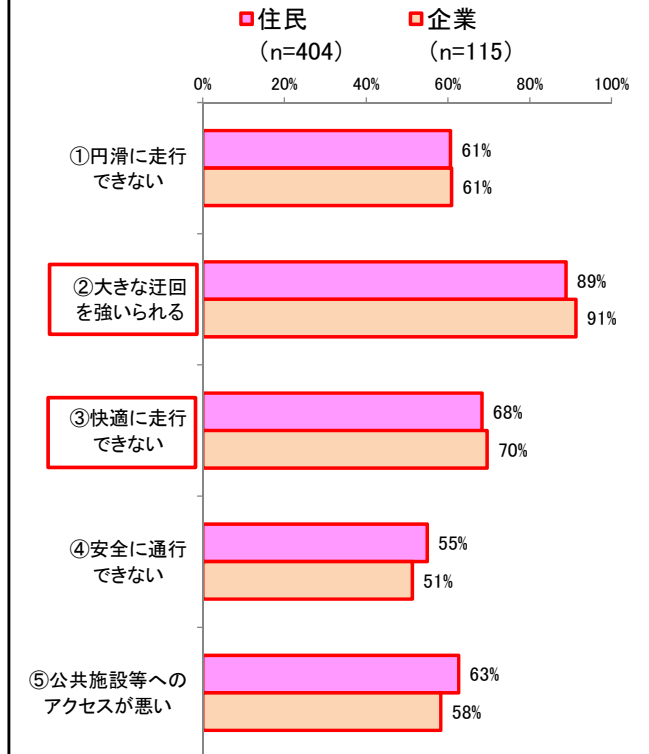
■高頻度(毎日)利用者における萩市、阿武町居住者・所在企業等とそれ以外の賛同意見割合

・沿線地域、沿線地域外ともに、「②大きな迂回を強いられる」が約8割を超えて高い。「③快適に走行出来ない」が約7割を越えている。



■高頻度(毎日)利用者における住民と企業別の賛同意見割合

・住民、企業ともに、「②大きな迂回を強いられる」が約8割を越えて高い。「③快適に走行出来ない」が約7割である。



2. アンケート調査結果

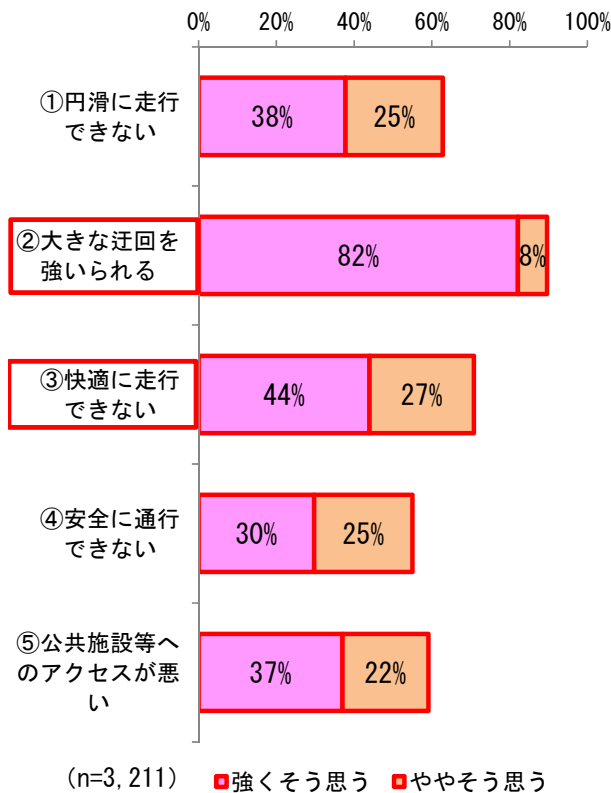
2) 交通課題②

- 交通特性別に集計した結果、内々交通の課題意識が高い傾向。
 ○どの交通特性も、「②災害時の通行止めの発生により、大きな迂回を強いられる」、「③カーブや急な坂、幅員狭小区間があり、快適に走行できない」といった交通課題に対する意見が多い。

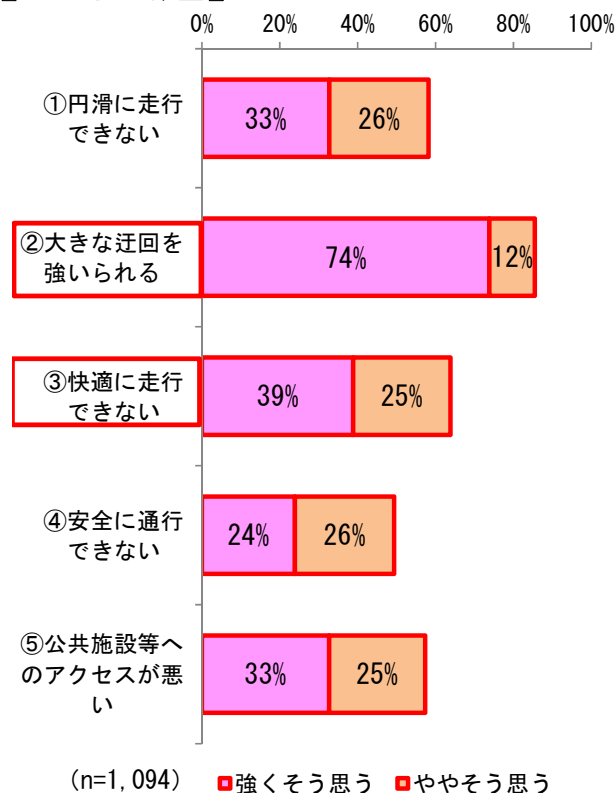
交通特性別の交通課題

- ① 観光シーズンなど交通渋滞や低速車による走行阻害により、円滑に走行できない
 ② 災害時の通行止めの発生により、大きな迂回を強いられる
 ③ カーブや急な坂、幅員狭小区間があり、快適に走行できない
 ④ 交通事故が多く、安全に通行できない
 ⑤ 地域の支所や公民館等の公共施設、商業施設への移動や観光地等へのアクセスが悪い

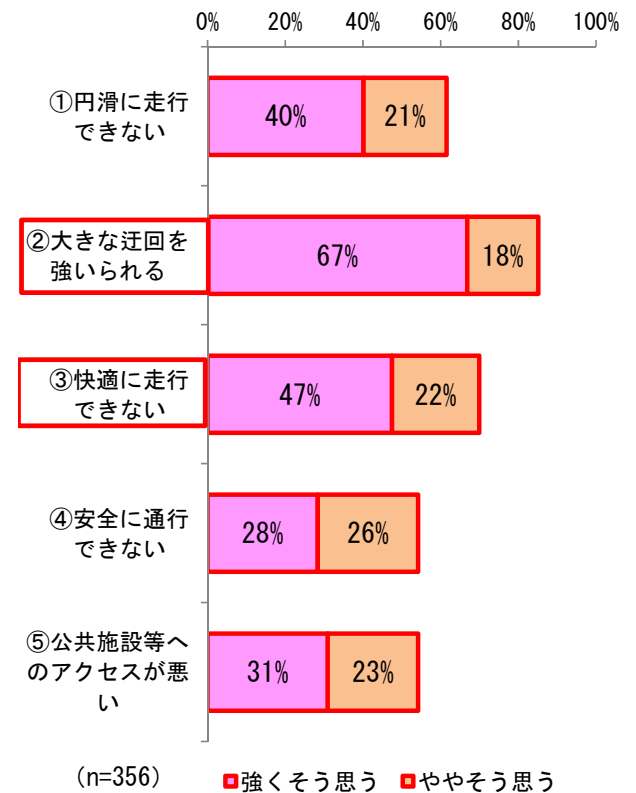
【内々交通】



【内外交通】



【通過交通】



内々交通：発着地ともに萩市もしくは阿武町の交通
 内外交通：発着地のいずれかが萩市もしくは阿武町の交通
 通過交通：発着地ともに萩市もしくは阿武町以外の交通

2. アンケート調査結果

3) 道路機能①

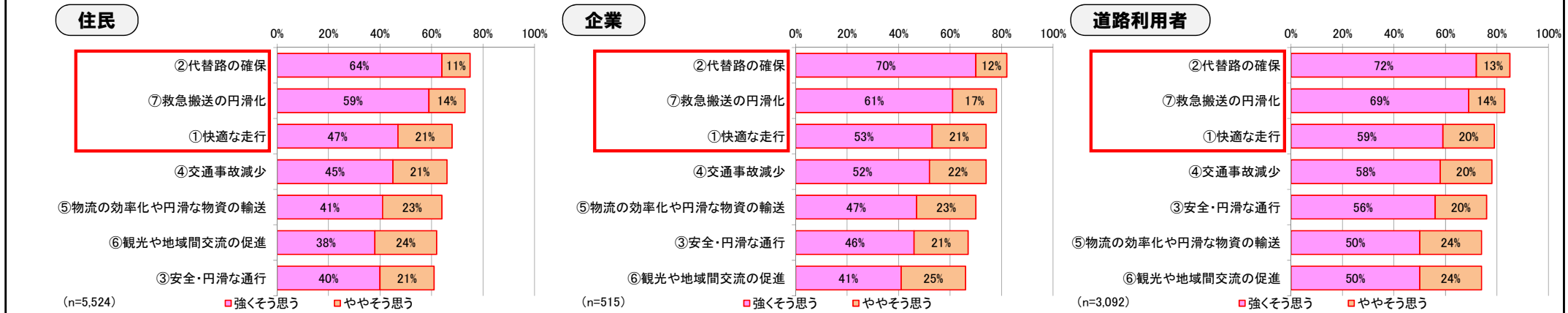
○全ての属性において必要とする道路機能の上位3項目は「②安心・安全な代替路の確保」、「⑦救急搬送の円滑化」、「①快適な走行」となっている。

○居住地・所在地別では、萩市、阿武町等とそれ以外でも同様の傾向を示している。

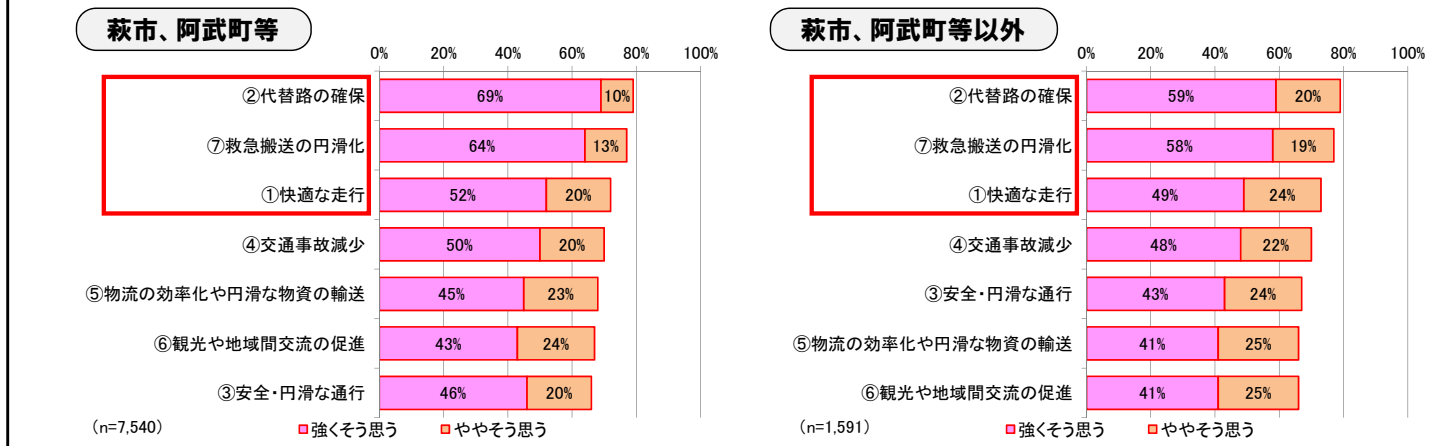
属性別の必要とする道路機能

- ① カーブや急な坂が少なく、広い道路を快適に走行できること
- ② 災害時や異常気象時に安心・安全に通行できる代替路が確保されること
- ③ 通過交通と地域内交通が分離され、安全かつ円滑に通行できること
- ④ 交通事故を少なくできること
- ⑤ 港湾や生産拠点、消費地との連絡性が良く、広域物流の効率化や円滑な物資等の輸送ができること
- ⑥ 観光や地域間交流を促進できること
- ⑦ 救急病院への移動や広域的な救急搬送が円滑にできること

■属性別の賛同意見割合(降順)



■萩市、阿武町等居住地・所在地とそれ以外居住地・所在地別の賛同意見割合(降順)



2. アンケート調査結果

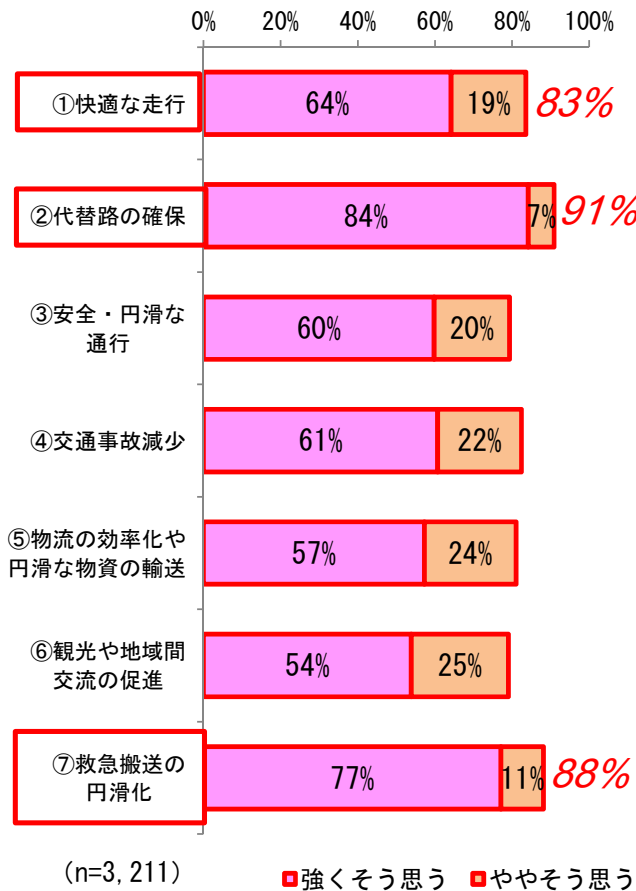
3) 道路機能②

○交通特性別に集計した結果、どの交通特性でも必要とする道路機能の上位3項目は「②安心・安全な代替路確保」、「⑦救急搬送の円滑化」、「①快適な走行」となっている。

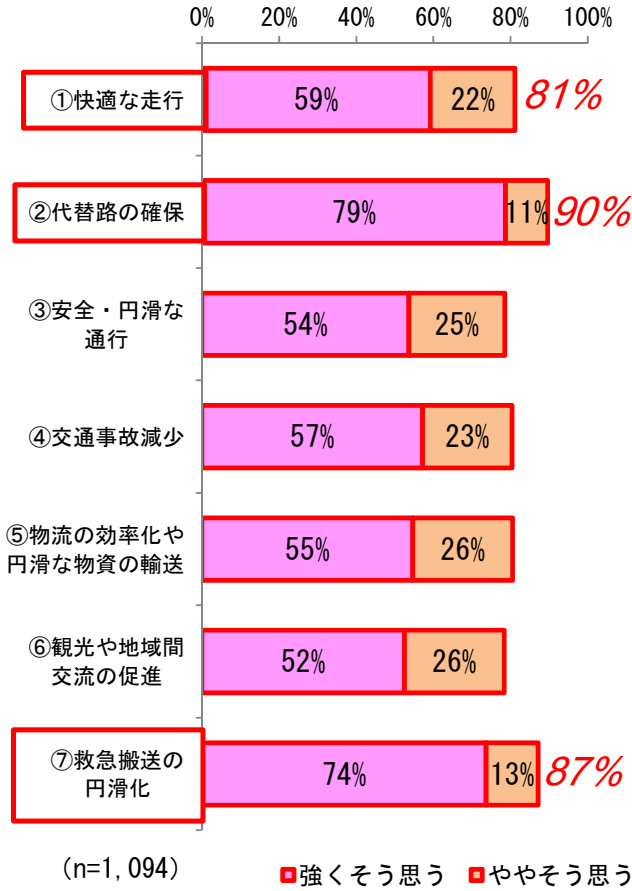
交通特性別の必要とする道路機能

- ① カーブや急な坂が少なく、広い道路を快適に走行できること
- ② 災害時や異常気象時に安心・安全に通行できる代替路が確保されること
- ③ 通過交通と地域内交通が分離され、安全かつ円滑に通行できること
- ④ 交通事故を少なくできること
- ⑤ 港湾や生産拠点、消費地との連絡性が良く、広域物流の効率化や円滑な物資等の輸送ができること
- ⑥ 観光や地域間交流を促進できること
- ⑦ 救急病院への移動や広域的な救急搬送が円滑にできること

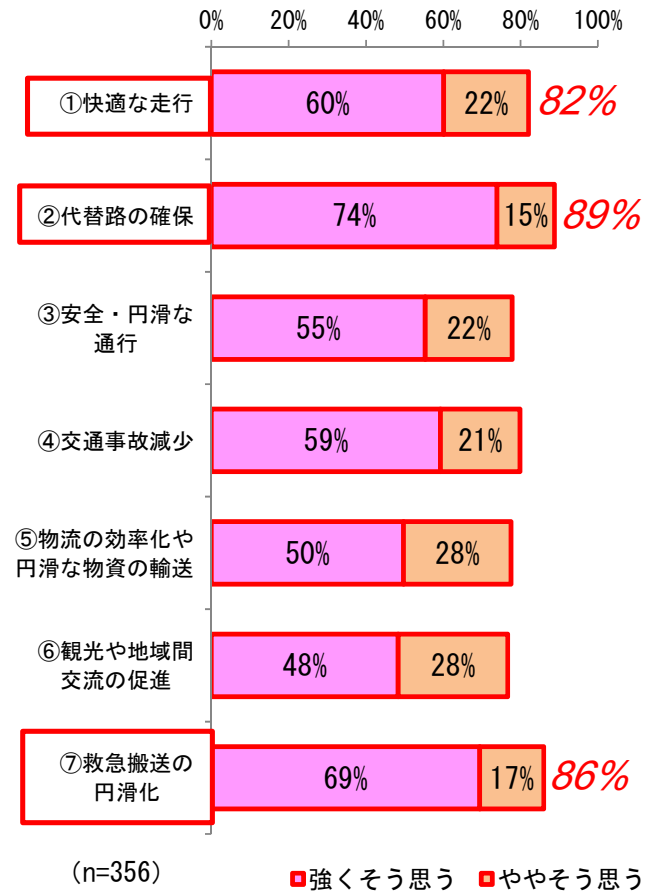
【内々交通】



【内外交通】



【通過交通】



内々交通：発着地ともに萩市もしくは阿武町の交通

内外交通：発着地のいずれかが萩市もしくは阿武町の交通

通過交通：発着地ともに萩市もしくは阿武町以外の交通

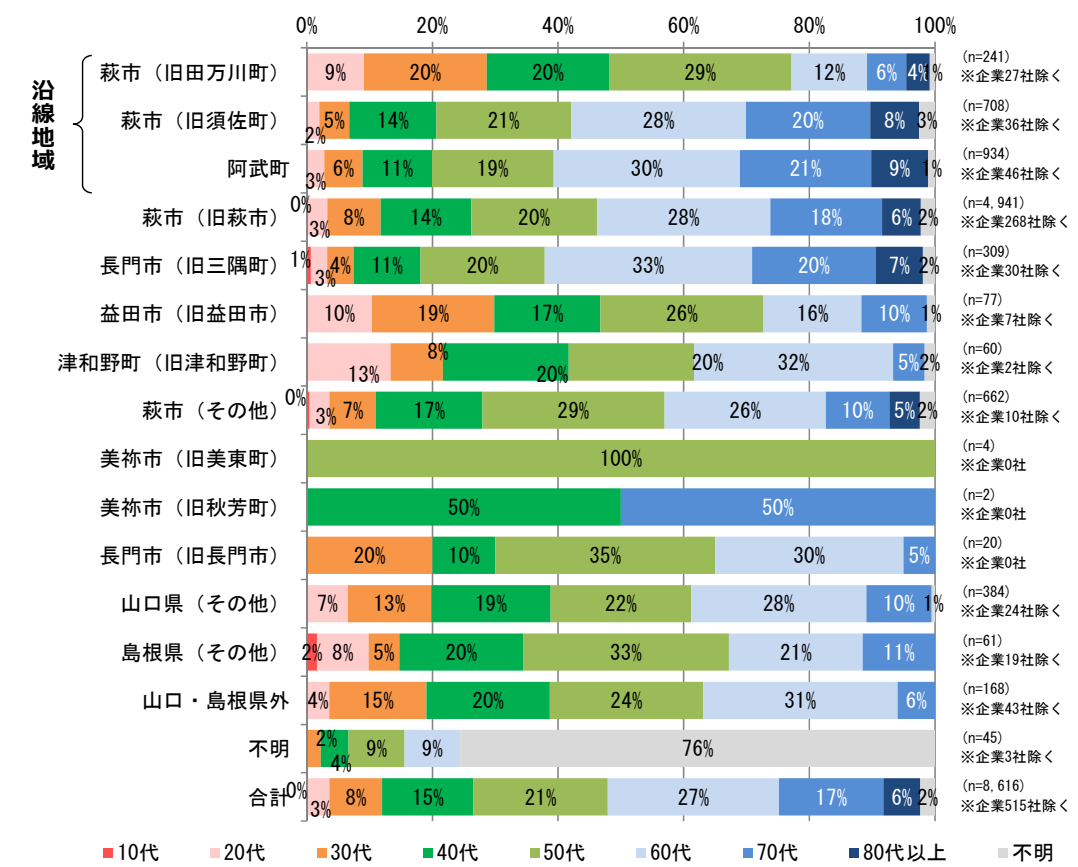
3. アンケートクロス集計結果

3. アンケートクロス集計結果

1) 属性分析①（住所別）

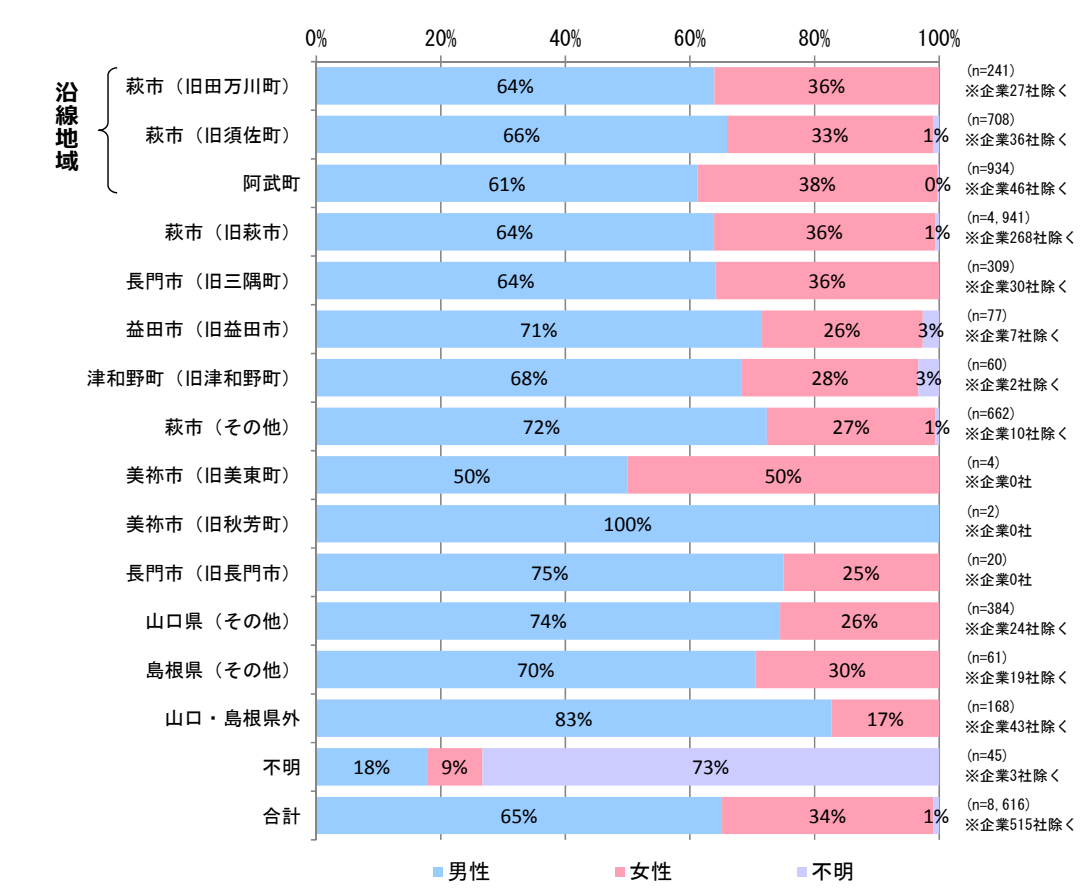
○住所別年齢は、年齢構成に大きな偏りは無いが、その他の地域に比べ、高齢者の回答割合が高い。
 ○住所別性別は、概ね男性が7割、女性3割。

【住所×年齢】



※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果

【住所×性別】



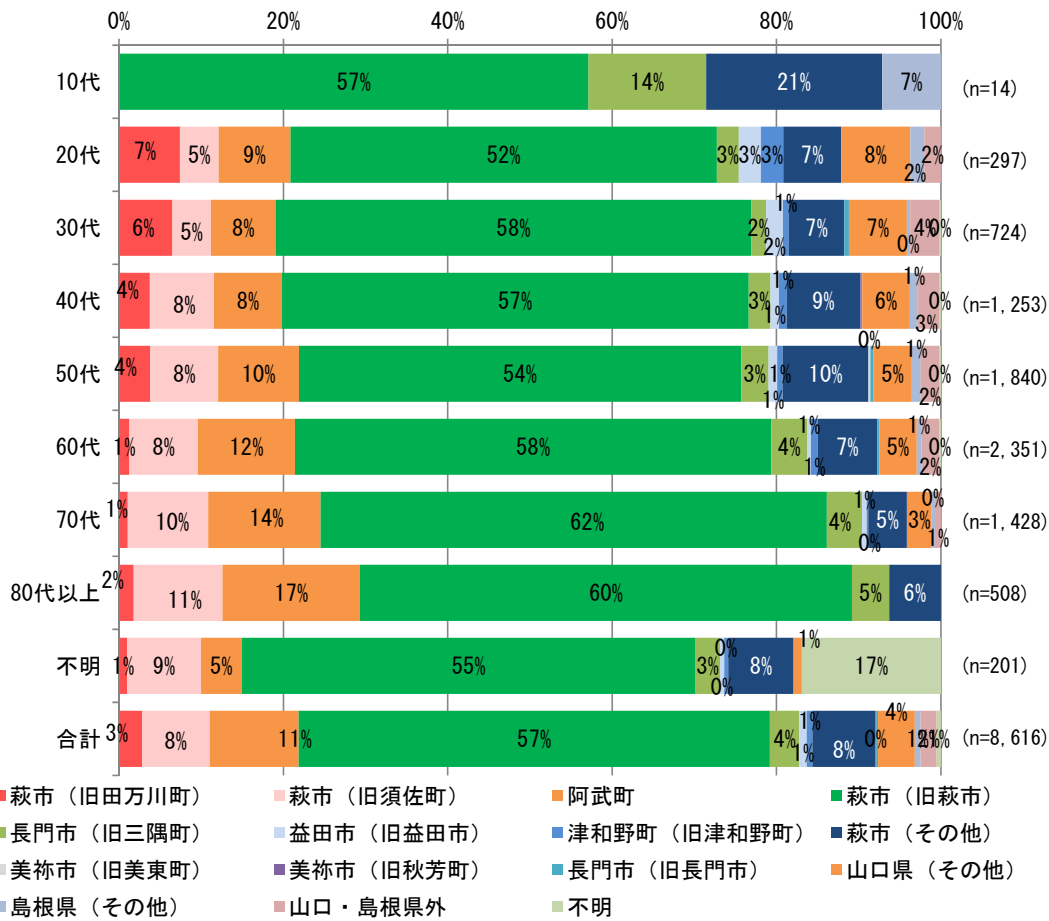
※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果

3. アンケートクロス集計結果

1) 属性分析②（年齢別）

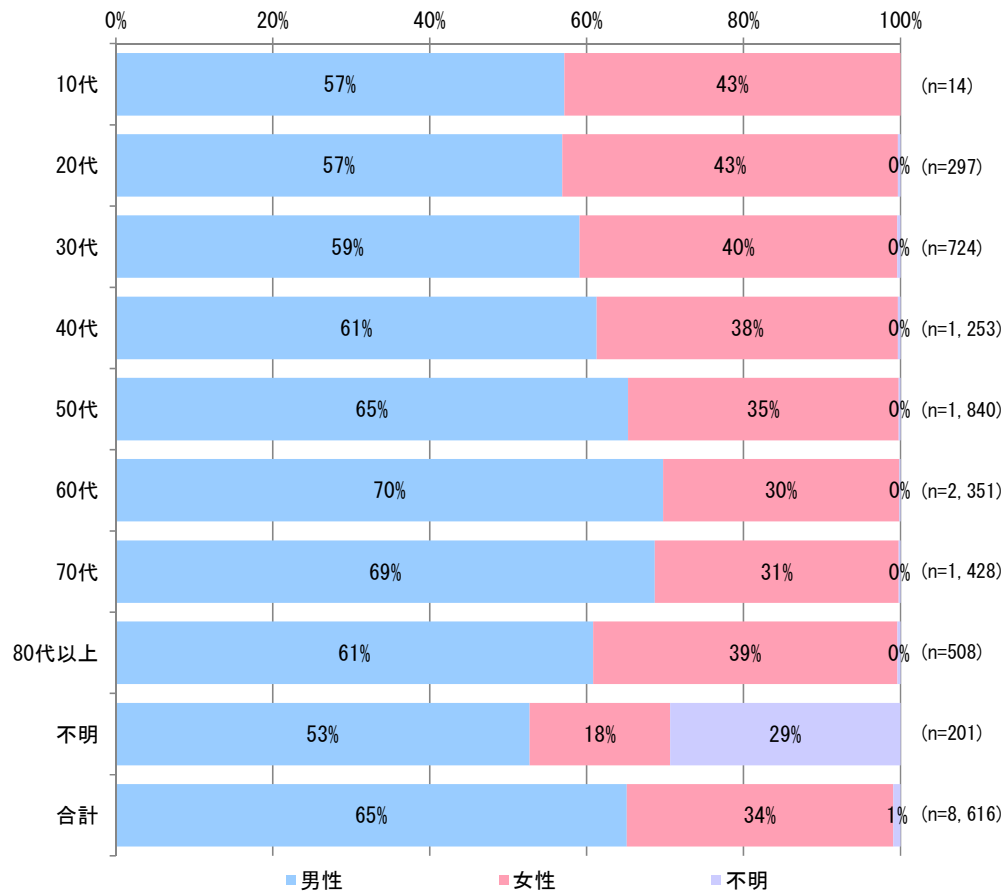
○年齢別居住地は、母数の少ない10代を除き、高齢になるほど当該地域の回答者割合が高い。
 ○年齢があがるほど、男性の回答割合が高い傾向にある。

【年齢×住所】



※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果

【年齢×性別】



※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果

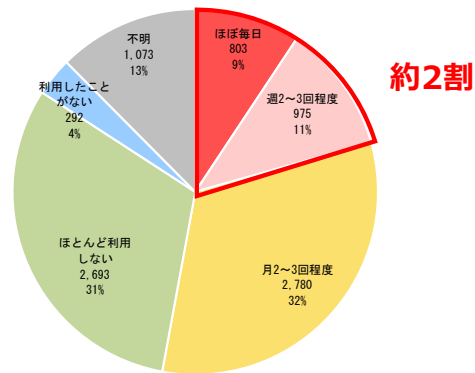
3. アンケートクロス集計結果

2) 利用頻度分析（住所別）

○住所別の利用頻度は、阿武町の利用頻度が高い。
 ○住所別利用目的は、全体では「仕事」が最も多く、次いで「家事・買物」「観光・レジャー」となっており、阿武町は最も多い利用目的が「家事・買物」となっている。

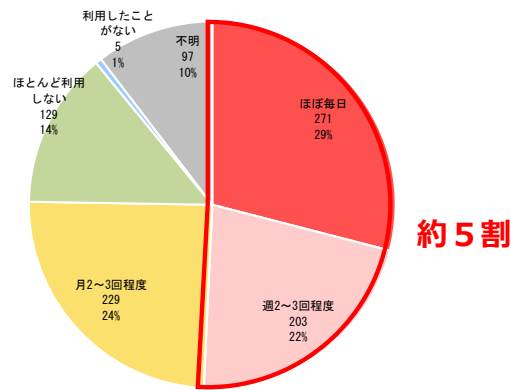
【住所×利用頻度】

【全体】 回答者数 N=8,616



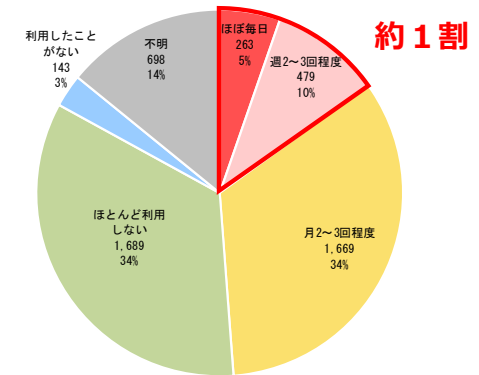
【阿武町】

回答者数 N=934



【萩市（旧萩市）】

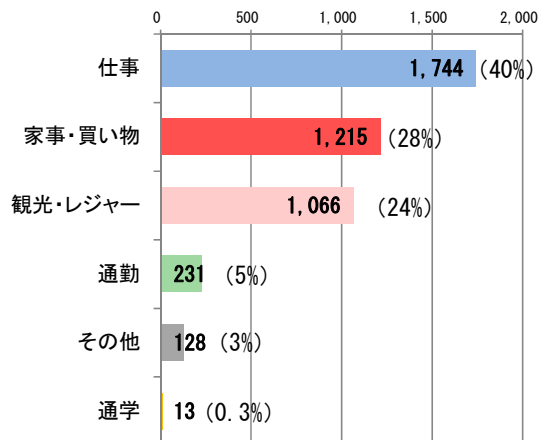
回答者数 N=4,941



※住民アンケート及び道路利用者アンケートの集計結果

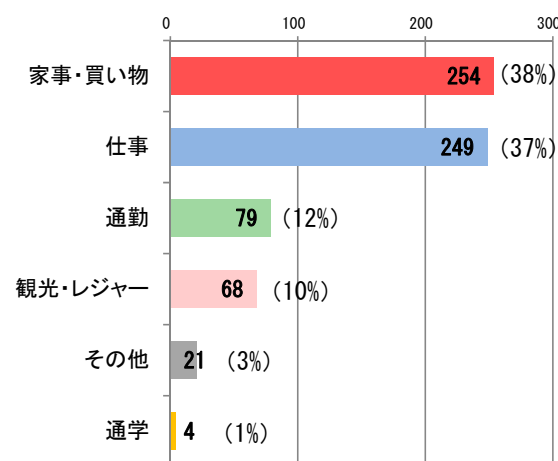
【住所×利用目的】

【全体】 回答者数 N=4,038
総意見数 N=4,397



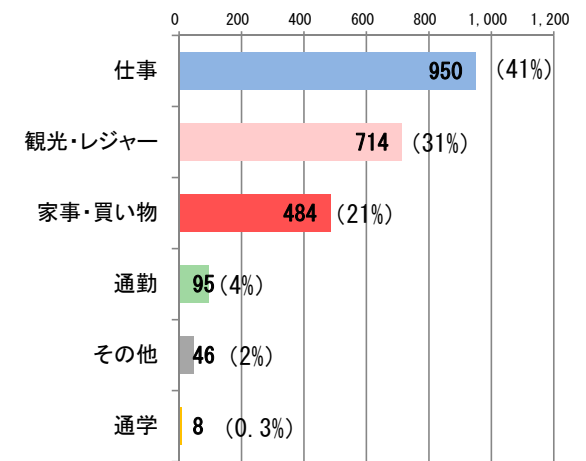
【阿武町】

回答者数 N=604
総意見数 N=675



【萩市（旧萩市）】

回答者数 N=2,109
総意見数 N=2,297



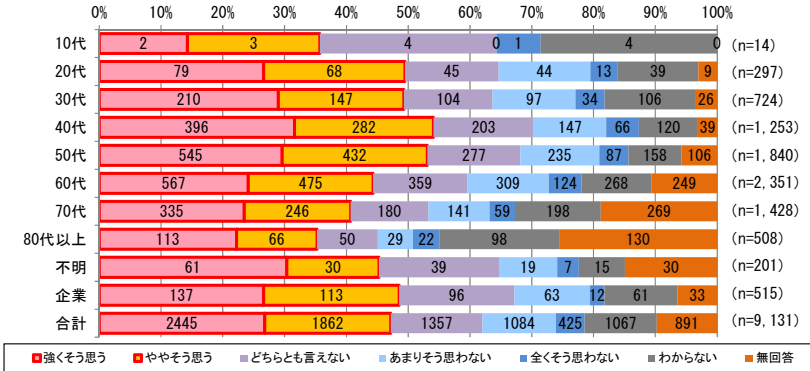
※住民アンケート及び道路利用者アンケートのうち、利用頻度が月2~3回以上を集計

3. アンケートクロス集計結果

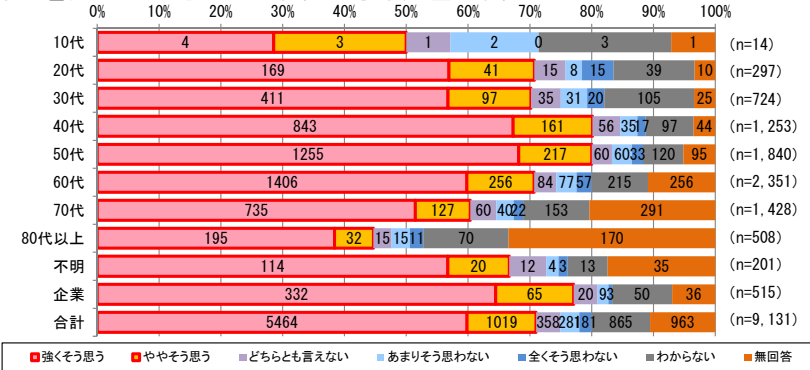
3) 課題の分析①（年代別）

○木与付近で感じている課題に関して、年代別にみると、各項目とも20代～50代の方が「強く思う」、「ややそう思う」と回答された方の割合が高い。

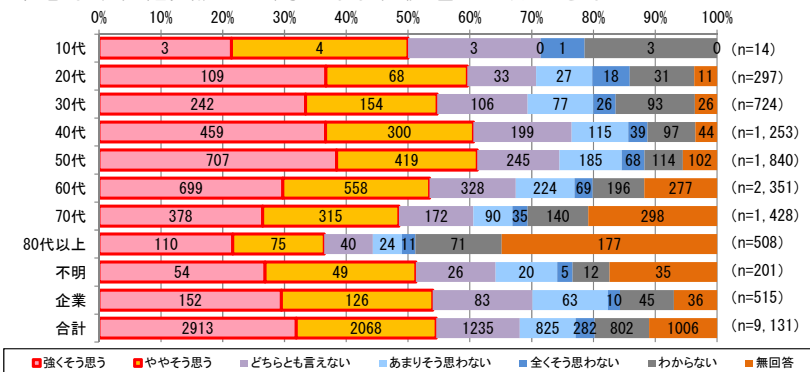
①観光シーズンなど交通渋滞や低速車による走行阻害により、円滑に走行できない



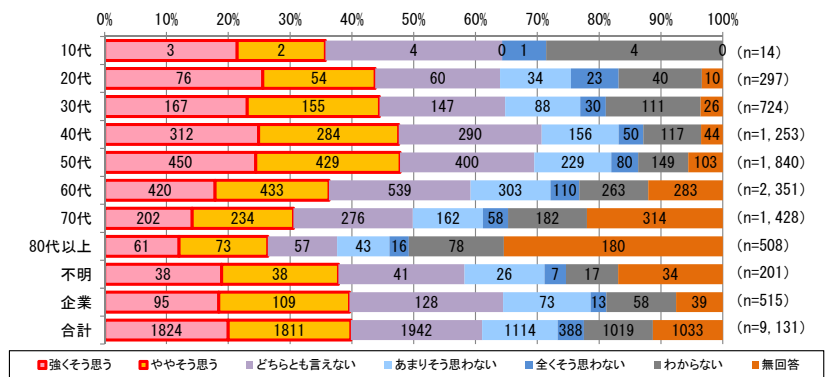
②災害時の通行止めの発生により、大きな迂回を強いられる



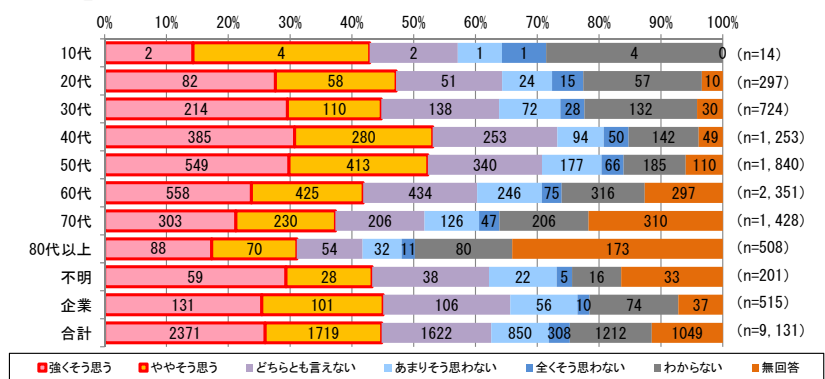
③カーブや急な坂、幅員狭小区間があり、快適に走行できない



④交通事故が多く、安全に通行できない



⑤地域の支所や公民館等の公共施設、商業施設への移動や観光地等へのアクセスが悪い

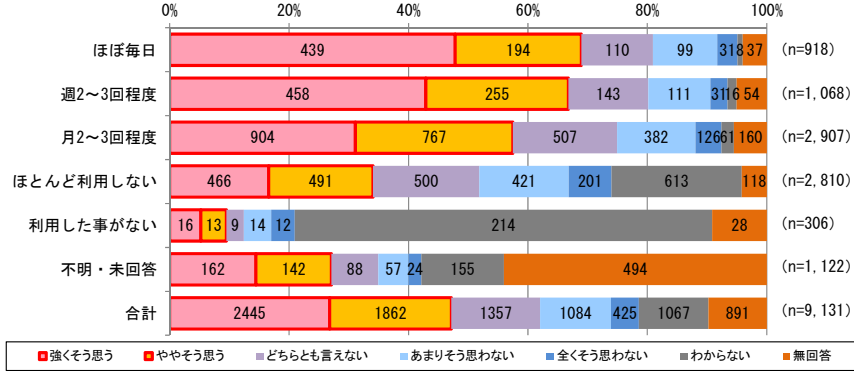


3. アンケートクロス集計結果

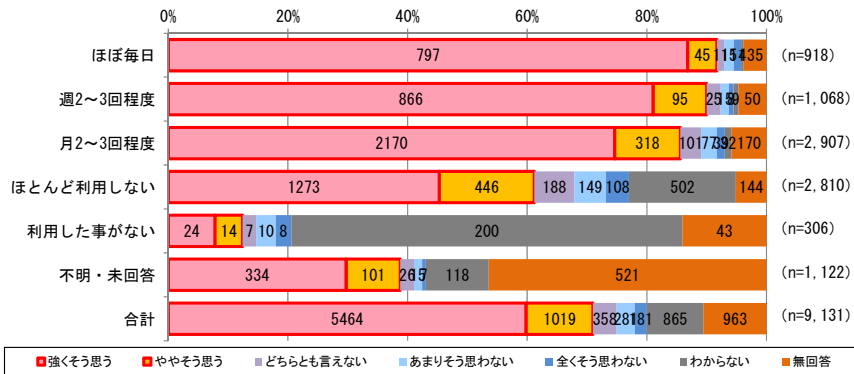
3) 課題の分析②（利用頻度別）

○木与付近で感じている課題に関して、利用頻度別にみると、利用頻度が多くなるほど、「強くそう思う」、「ややそう思う」と回答する割合が高くなる傾向。

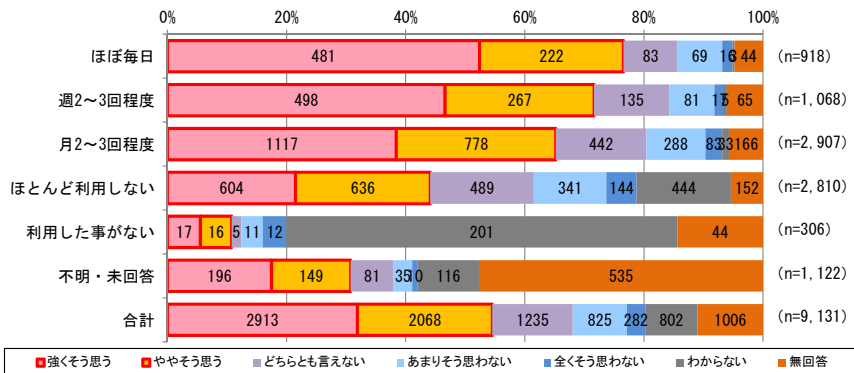
①観光シーズンなど交通渋滞や低速車による走行阻害により、円滑に走行できない



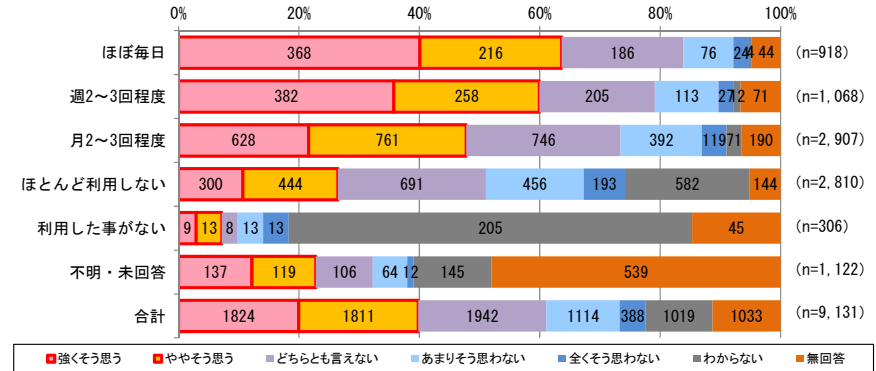
②災害時の通行止めの発生により、大きな迂回を強いられる



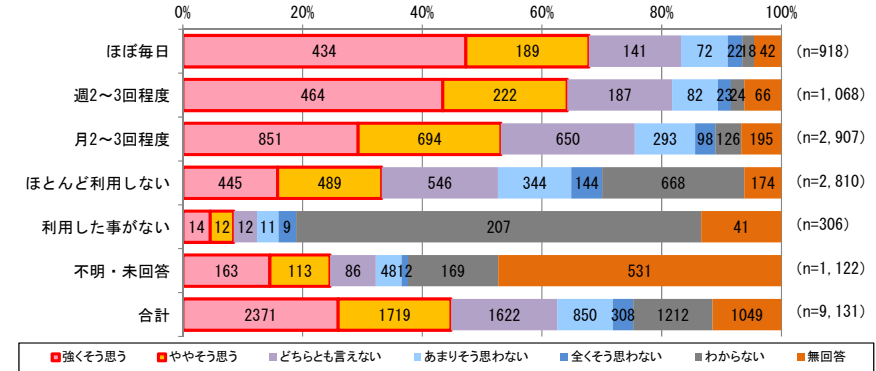
③カーブや急な坂、幅員狭小区間があり、快適に走行できない



④交通事故が多く、安全に通行できない



⑤地域の支所や公民館等の公共施設、商業施設への移動や観光地等へのアクセスが悪い

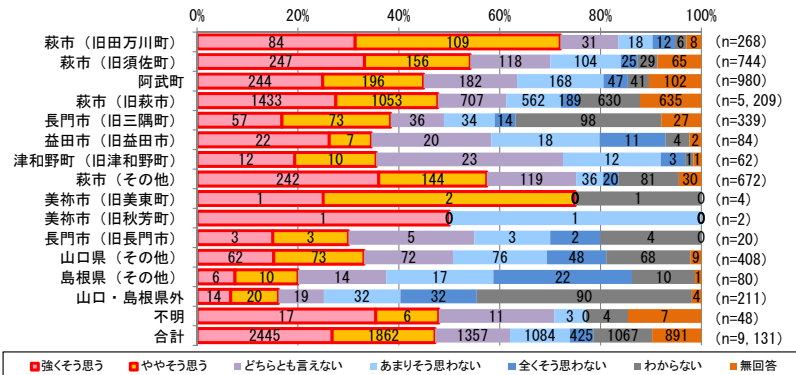


3. アンケートクロス集計結果

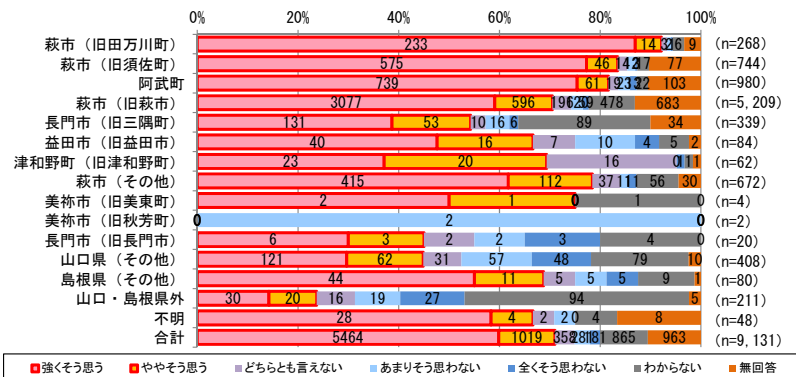
3) 課題の分析③（住所別）

○木与付近で感じている課題に関して、住所別にみると、事業区間が通過する阿武町その他、萩市(旧須佐町)、萩市(旧田万川町)で「強くそう思う」、「ややそう思う」と回答する割合が高くなる傾向。

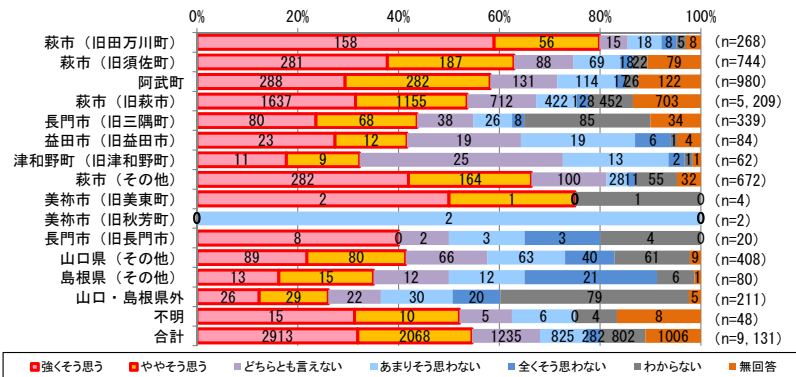
①観光シーズンなど交通渋滞や低速車による走行阻害により、円滑に走行できない



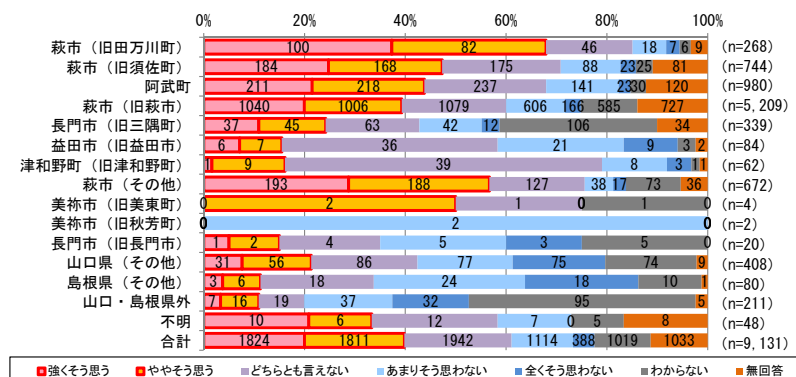
②災害時の通行止めの発生により、大きな迂回を強いられる



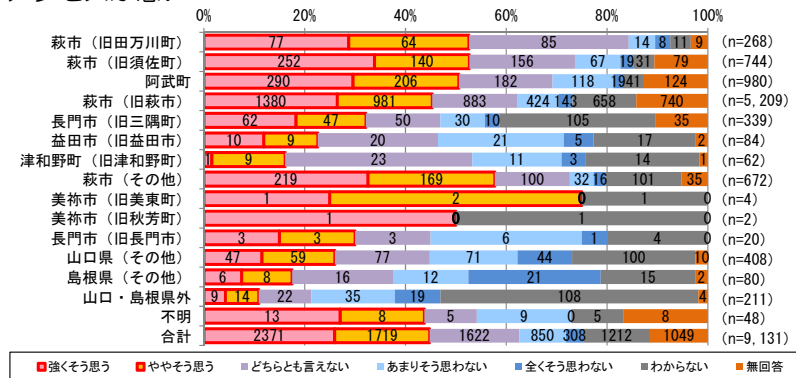
③カーブや急な坂、幅員狭小区間があり、快適に走行できない



④交通事故が多く、安全に通行できない



⑤地域の支所や公民館等の公共施設、商業施設への移動や観光地等へのアクセスが悪い

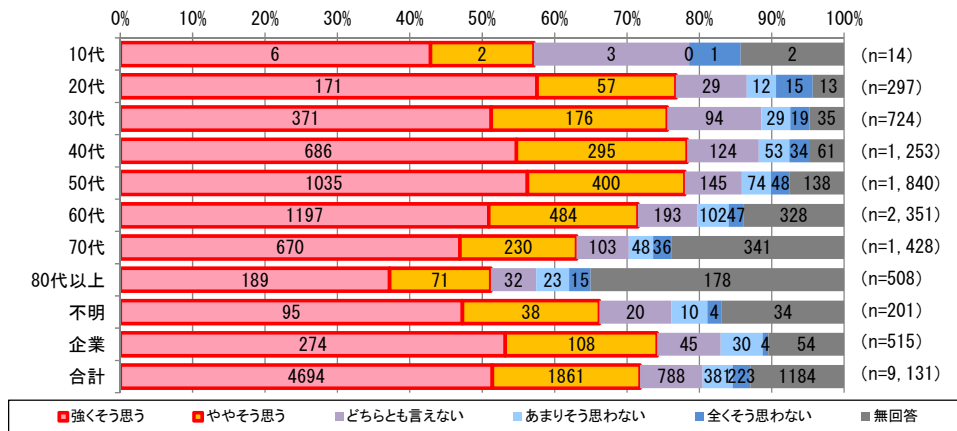


3. アンケートクロス集計結果

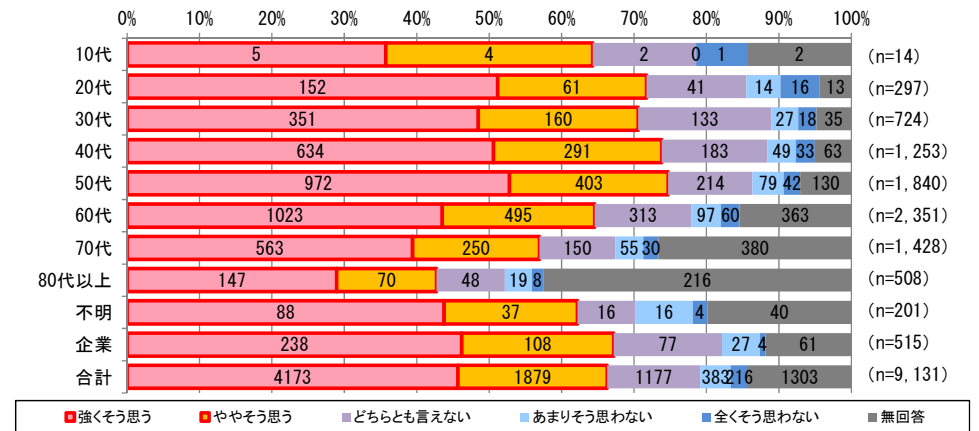
4) 必要な機能の分析①（年代別）

○道路に求める機能のうち、「カーブや急な坂が少なく、広い道路を快適に走行できること」、「災害時や異常気象時に安心・安全に通行できる代替路が確保されること」、「観光や地域間交流を促進できること」、は20代から50代の7割以上の方が「強くそう思う」または「ややそう思う」と回答。

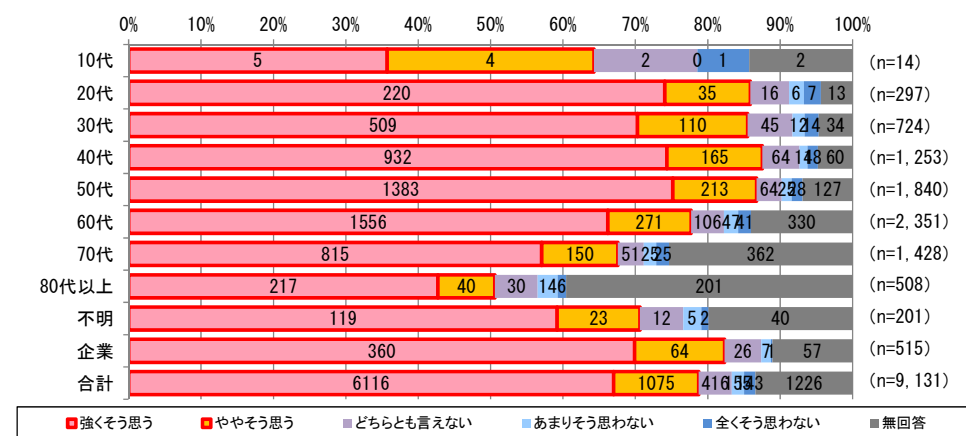
①カーブや急な坂が少なく、広い道路を快適に走行できること



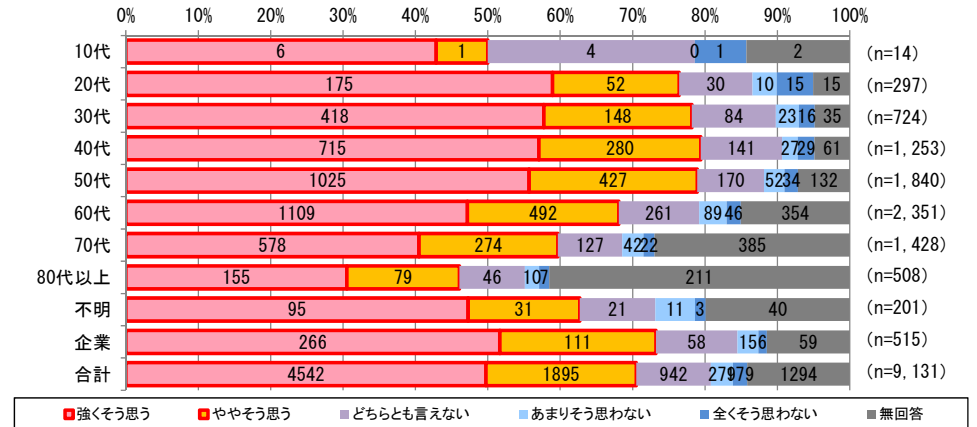
③通過交通と地域内交通が分離され、安全かつ円滑に通行できること



②災害時や異常気象時に安心・安全に通行できる代替路が確保されること



④交通事故を少なくできること

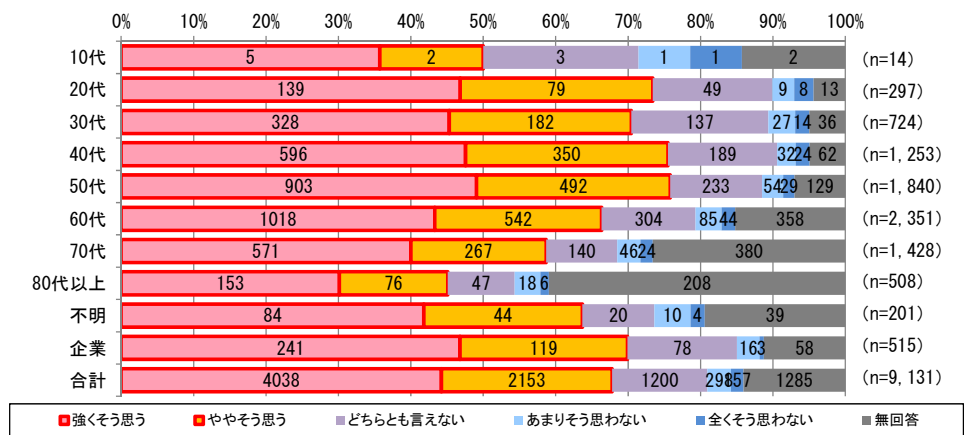


3. アンケートクロス集計結果

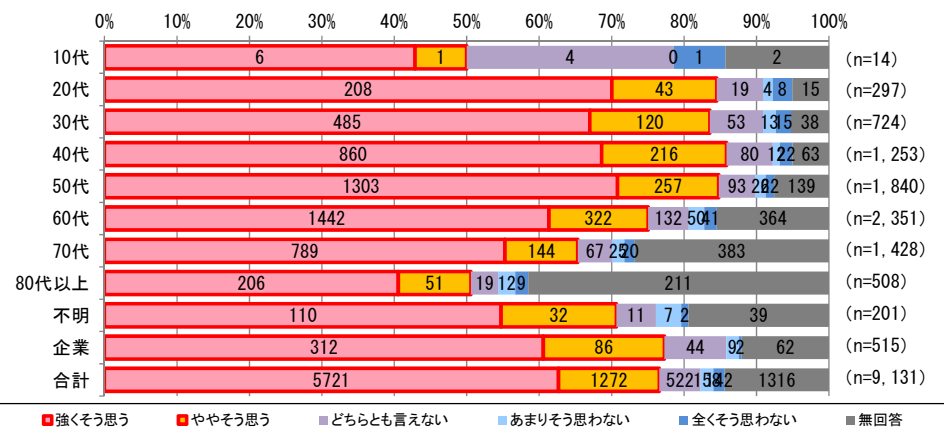
4) 必要な機能の分析①（年代別）

○道路に求める機能のうち、「救急病院への移動や広域的な救急搬送が円滑にできること」、「主要な地域との連絡性が良く日常生活の利便性が高いこと」は20代から50代の7割以上の方が「強く思う」または「やや思う」と回答。

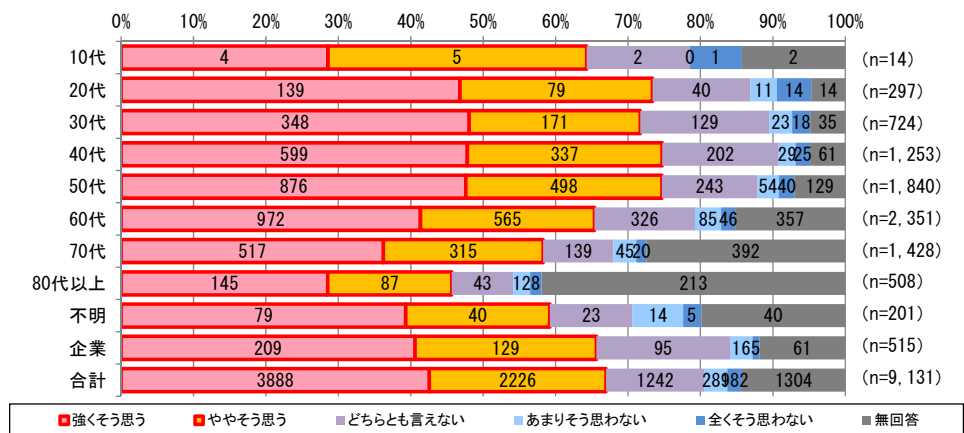
⑤港湾や生産拠点、消費地との連絡性が良く、広域物流の効率化や円滑な物資等の輸送ができること



⑦救急病院への移動や広域的な救急搬送が円滑にできること



⑥観光や地域間交流を促進できること

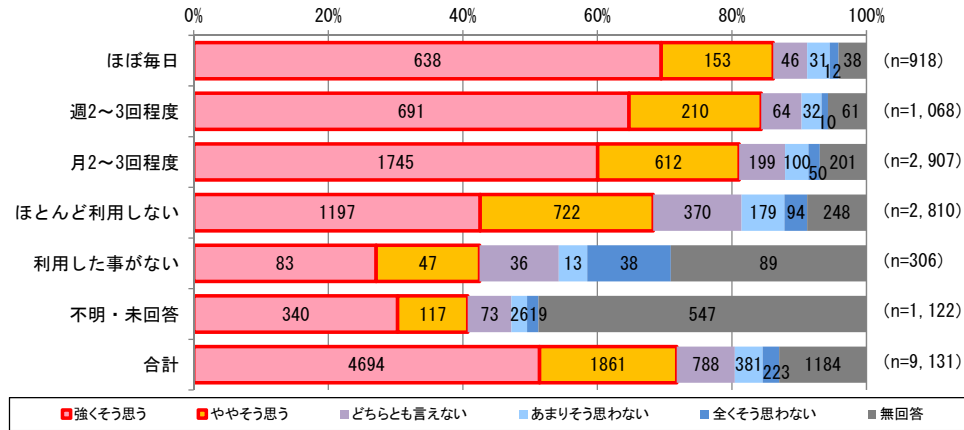


3. アンケートクロス集計結果

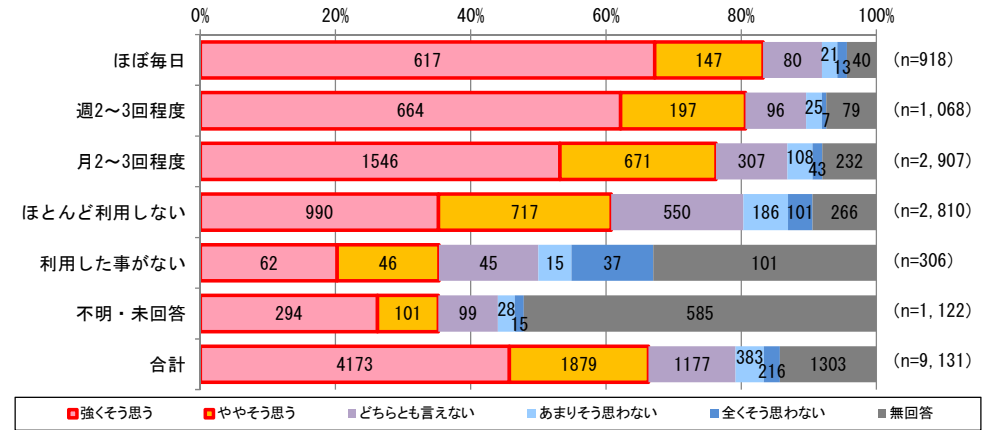
4) 必要な機能の分析②（利用頻度別）

○道路に求める機能について、利用頻度別にみると、利用頻度別にみると、利用頻度が多くなるほど、「強くそう思う」、「ややそう思う」と回答する割合が高くなる傾向。

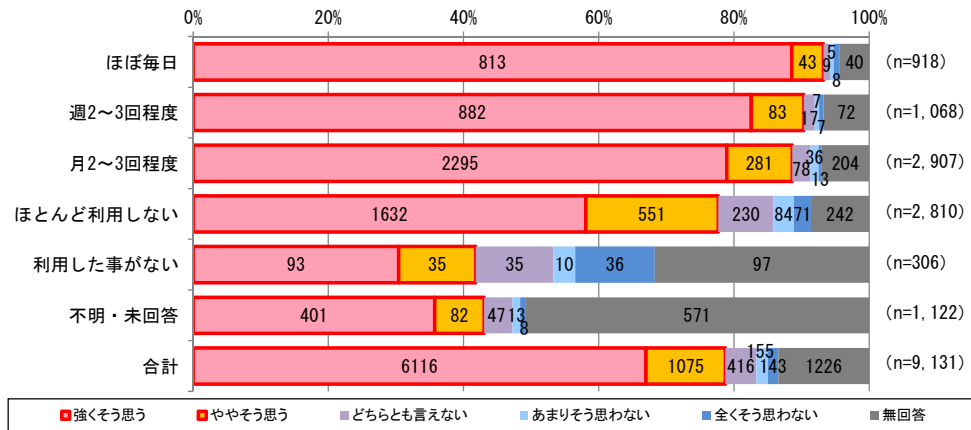
①カーブや急な坂が少なく、広い道路を快適に走行できること



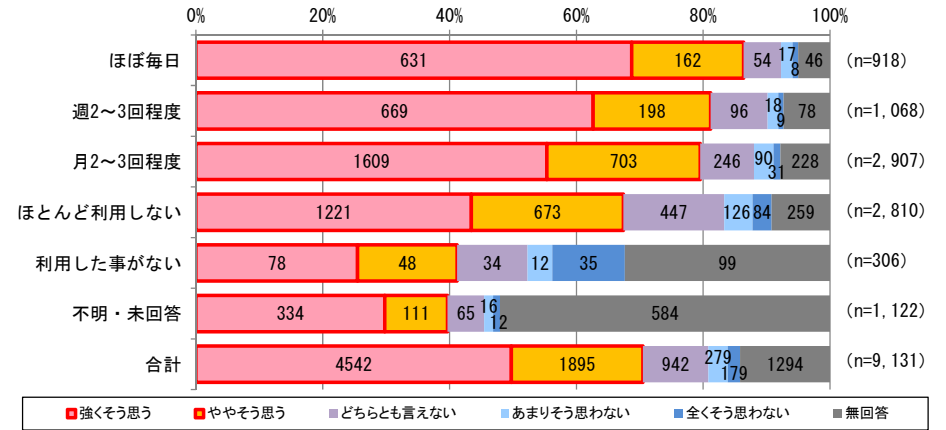
③通過交通と地域内交通が分離され、安全かつ円滑に通行できること



②災害時や異常気象時に安心・安全に通行できる代替路が確保されること



④交通事故を少なくできること

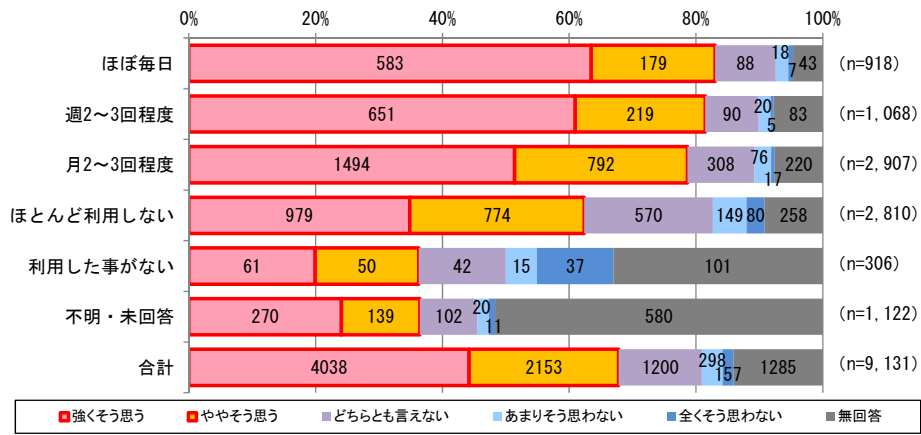


3. アンケートクロス集計結果

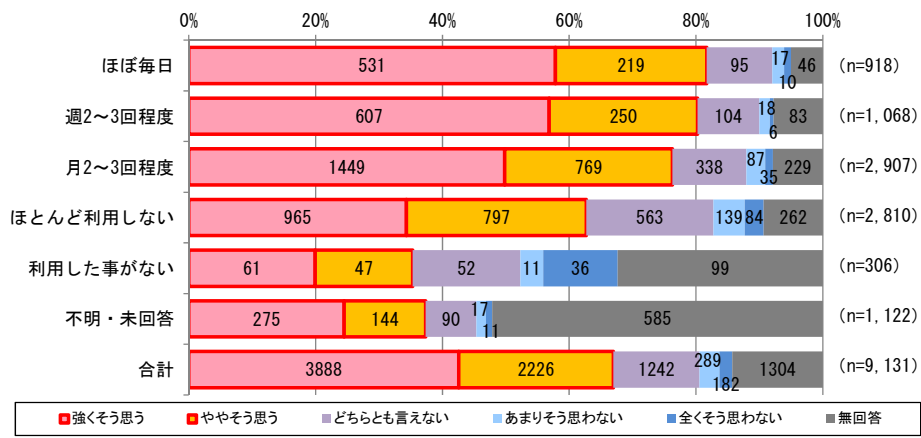
4) 必要な機能の分析②（利用頻度別）

○道路に求める機能について、利用頻度別にみると、救急病院への移動や広域的な救急搬送が円滑にできることに対して、月2～3回以上利用されている方は、約8割の方が「強くそう思う」、「ややそう思う」と回答。

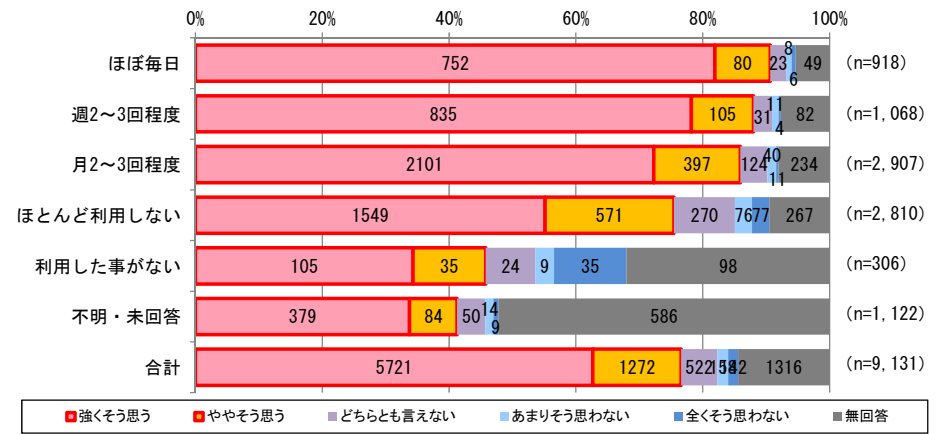
⑤ 港湾や生産拠点、消費地との連絡性が良く、広域物流の効率化や円滑な物資等の輸送ができること



⑥ 観光や地域間交流を促進できること



⑦ 救急病院への移動や広域的な救急搬送が円滑にできること

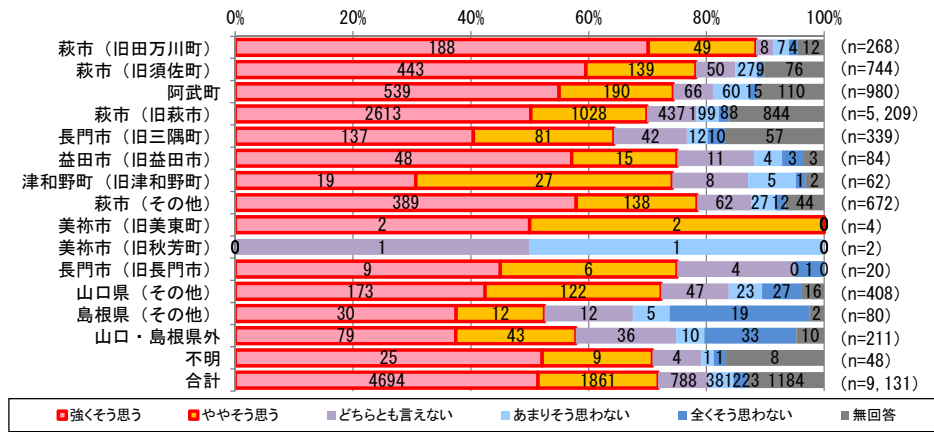


3. アンケートクロス集計結果

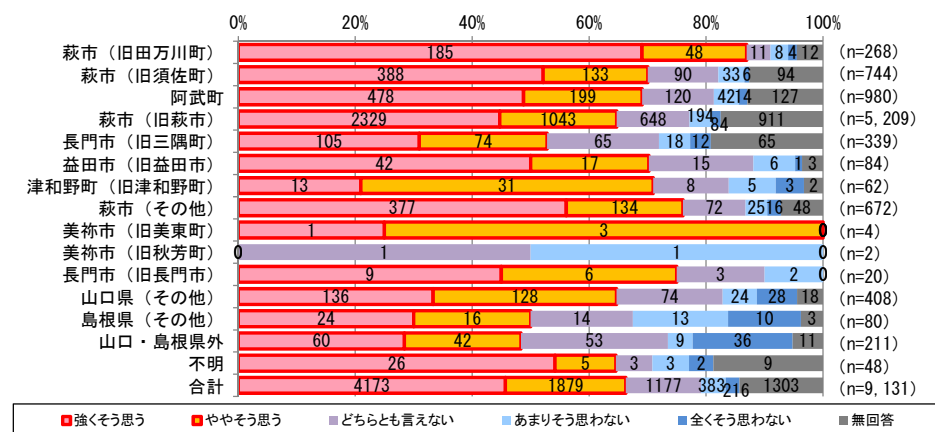
4) 必要な機能の分析③（住所別）

○道路に求める機能について、住所別にみると、事業区間が通過する阿武町その他、萩市（旧須佐町）、萩市（旧田万川町）で「強く思う」、「ややそう思う」と回答する割合が高くなる傾向。

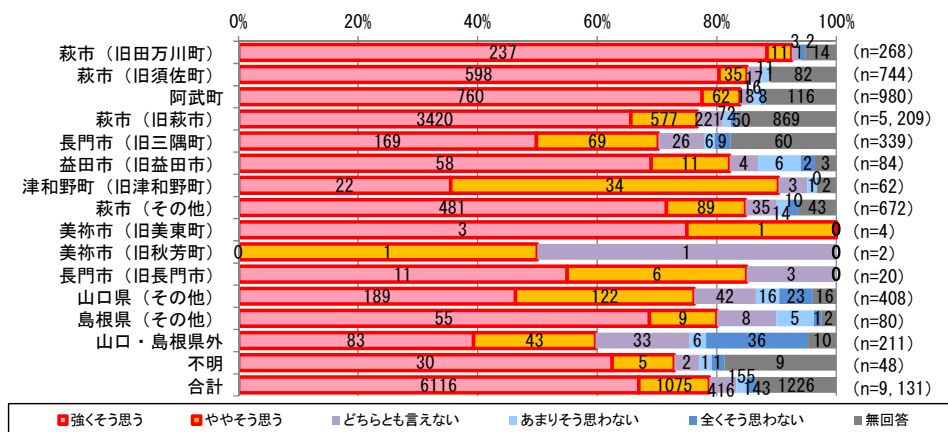
①カーブや急な坂が少なく、広い道路を快適に走行できること



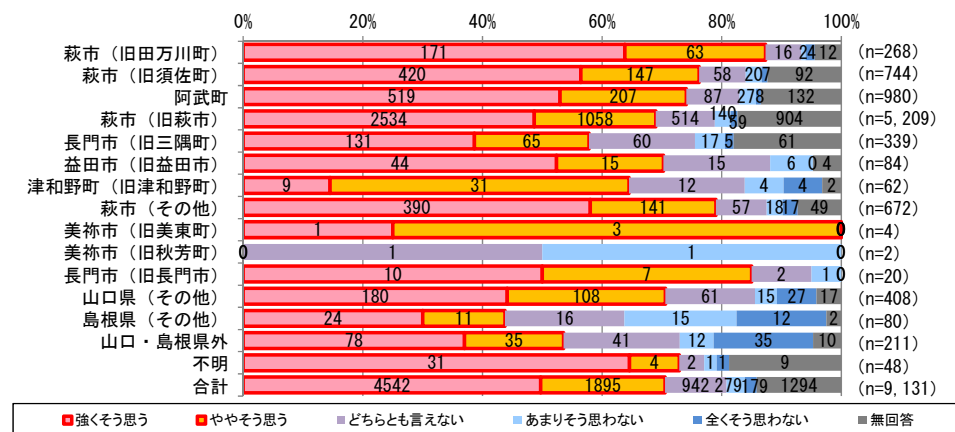
③通過交通と地域内交通が分離され、安全かつ円滑に通行できること



②災害時や異常気象時に安心・安全に通行できる代替路が確保されること



④交通事故を少なくできること

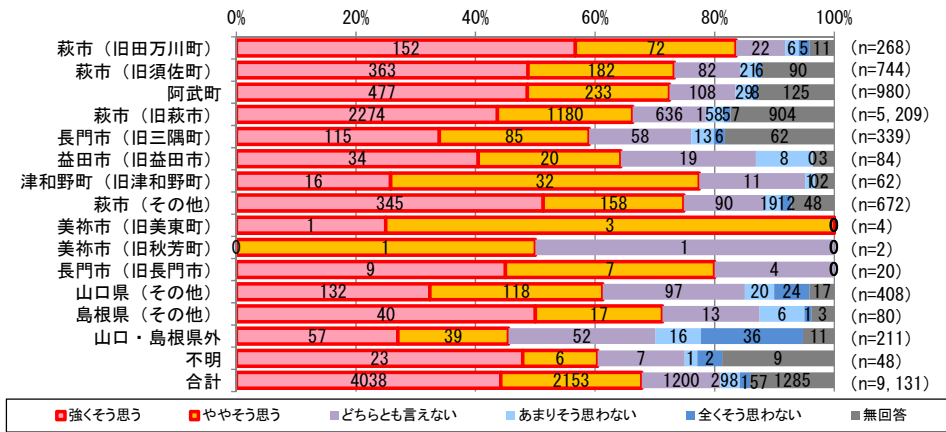


3. アンケートクロス集計結果

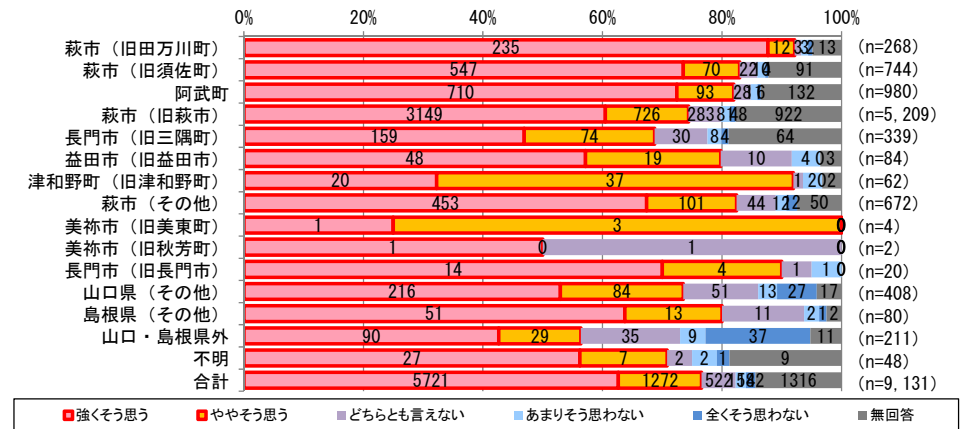
4) 必要な機能の分析③（住所別）

○道路に求める機能について、住所別にみると、事業区間が通過する阿武町その他、萩市（旧須佐町）、萩市（旧田万川町）で「強く思う」、「ややそう思う」と回答する割合が高くなる傾向。

⑤港湾や生産拠点、消費地との連絡性が良く、広域物流の効率化や円滑な物資等の輸送ができること



⑦救急病院への移動や広域的な救急搬送が円滑にできること



⑥観光や地域間交流を促進できること

